

一千八百八十年獨乙大演習

獨逸軍每歲演習ノ順序ハ世人ノ知ル如ク兩師團ノ對抗演習ヲ以テ最
終ト爲ス故ニ皇帝大演習ニ皇帝ノ天覽アルヲニ於テ一軍團ノ演習アル
ノミ然リト雖モ通常想像敵或ハ假設敵ニ對シテ戦闘ノ動作ヲ爲スニ
過キス千八百七十六年ニ於テハ第四及第十二軍團ヲ一方ニ第三軍團
及ヒ近衛軍團ヲ一方ニ集合セリ如斯著大ナル實地演習ハ爾後又施行
セシメナシ實ニ千八百七十七年ニ於テハ三軍團ヲ集合シ七十八年ニ
一軍團ノミヲ召集シ七十九年ニ於テ又三軍團ヲ集合セシト雖モ
各別ニ假設敵ニ對シ演習セシノミ本年千八百八十年ハ又千
八百八十年ノ例ヲ追ヒ第三軍團ト近衛軍團トノ對抗演習ヲ爲シタ

近衛軍團ハ步兵九聯隊ヲ以テ編成スルニ由リ其一聯隊(即銃手隊)ヲ取
リ教育大隊(ボツダム)下士學校二中隊教育砲兵中隊(砲兵射的學校ニ及
ヒ近衛輕裝騎兵一中隊ヲ編合シテ集成旅團ヲ編成シ扶援隊ト爲シ其
運動ノ景況ヲ變換セン爲メ某軍團ニ兵員多數ヲ與ヘント欲スルヒノ
用ニ供セリ

故ニ近衛軍團ハ定制ノ編制ナリシト雖モ其騎兵八聯隊ハ平時之ヲ集
メテ騎兵師團ニ編成シアルヲ以テ其二聯隊ヲ分テ師團騎兵ト爲セリ
近衛軍團 長 ウニルダンベルヒ公(チーキユスト)陸軍大將

第一師團 長 ホンクライスト

第一旅團

近衛步兵第一聯隊 近衛步兵第三聯隊

第二旅團

近衛步兵第二聯隊 近衛步兵第四聯隊

近衛輕裝騎兵聯隊(四)中隊

近衛野砲兵第二聯隊第一大隊(四)中隊

近衛工兵大隊第一中隊

第二師團 長 ホンダル子ルベルヒ

第三旅團

擲彈兵第一聯隊 擲彈兵第三聯隊

銃手大隊

第四旅團

擲彈兵第二聯隊 擲彈兵第四聯隊

近衛槍騎兵第二聯隊

近衛野砲兵第二聯隊第二大隊(四)中隊

近衛工兵大隊第二第三中隊

騎兵師團長騎兵將官コント、ホン、ブランデンブルヒ(騎兵將官ハ中將ニ當ル)

第一旅團

「カルド、ザユ、コール」聯隊 近衛甲騎兵聯隊

第二旅團

近衛槍騎兵第一聯隊 近衛槍騎兵第三聯隊

第三旅團

近衛龍騎兵第一聯隊 近衛龍騎兵第二聯隊

近衛騎砲兵大隊第一第二中隊

軍團砲兵

近衛野砲兵第一聯隊第一第二大隊六中隊

近衛騎砲兵大隊第三中隊

擲彈兵第四聯隊ハ「ゴブレ」ニ「屯營スル」モノナレバ大演習ノ爲メニ
 鑛道ヲ以テ伯林ニ運送セリ而八月廿九日ヲ以テ全軍團ヲ集合シ伯林
 ニ「三旅團」ヲ「タム」ニ一旅團ヲ宿營セシメタリ
 翌日ヨリ次ノ順序ニ從ヒ諸種ノ運動ヲ施行ス
 八月三十日ヨリ九月四日ニ至ルマテ旅團演習六回
 九月五日ヨリ同十日ニ至ル師團演習三回
 九月十三日ハ全軍團ヲ伯林ニ集合シ 皇帝ノ觀兵式
 九月十四日軍團演習ニシテ假設敵ニ對シ左ニ記載スル方略ヲ以テス

一般方略

近衛軍團ハ九月十三日「コペニク」(イ)地(ルドウ)ノ北方六吉羅米突ノ
 地ノ近傍ニ於テ「スブレ」(河)ヲ渡リ同十四日「ルドウ」(ロ)村ノ南方ナ
 ル陣地ヲ覆シテ「マリヤンヘルド」(エ)村ニ到リ南軍ノ動作ヲ扶掖セシ

トス。○近衛騎兵師團ハ九月十三日ノ晚「グロース」チ「レ」村ニマ
 テ到達シ敵兵ハ「ブコウ」(ホ)村ヲ占領セス寡少ノ兵ヲ以テ「ブリツ」(ヘ)及
 ヒ「マリヤンドルフ」(ト)ノ兩村ヲ占領スルヲ報知ス
 北軍(假設敵)「ブリツ」(ヘ)「マリヤンドルフ」(ト)ノ線ヨリ分進シ攻勢ヲ
 採リテ南軍ノ企望ヲ抗拒セシトス
 是ニ於テ軍團長ハ左ノ命令ヲ下ス

近衛軍團千八百八十年九月十四日ノ配備

敵兵ハ本日其前哨ヲ以テ「ブリツ」(ヘ)及ヒ「マリヤンドルフ」(ト)ヲ占領

予ハ明日「マリヤン」フ「グロ」(ニ)ニ行カント欲ス之カ爲メニ次ノ命令

ヲ下ス

第三 近衛歩兵第一師團ハ軍團砲兵ヲ從ヘ午前第八時ヨリ「ブコウ」

(ホ)ヲ經テ「マリヤン」フ「グロ」(ニ)ニ向ヒ進軍スヘシ

第二 近衛歩兵第二師團ハ午前第七時其運動ヲ始メ「グロ」ス、チ

「レ」リヒテン「ラード」(チ)ニ向テ進軍スヘシ

第三 近衛騎兵師團ハ「ブコウ」(ホ)ノ北方「ブリツ」(ヘ)ノ方向ニ在テ我

運動ヲ掩匿スルヲ務ムヘシ

第四 敵兵脅襲スルヲ見レハ直ニ攻勢ヲ採テ之レヲ抗拒スヘシ

第五 予ハ近衛歩兵第二師團ト共ニ行進ス

「ブコウ」(ホ)ニ於テ千八百八十年九月十三日午後第三時

「ウニル」タン「ベルヒ」公「ラー」ギユスト

集合場 ランデーヴー

第一 騎兵師團ハ騎砲兵二中隊ト共ニ「ブコウ」(ホ)リヒテン「ラード」(チ)道

ト「リヒテン」ラード(チ)「マリヤンドルフ」(ト)道トノ交叉點(リ)ニ集合

ス

第二 近衛歩兵第二師團△グロース、チーテン(レ)ノ北方ナル「ウ、井ンベ
ルロ(ヌ)岡ノ名ニ集合ス

第三 近衛歩兵第一師團ハ軍團砲兵ト共ニ「ブコウ(ホ)「ルドウ(ロ)道ト「ル
ドウ(ロ)「リホスドルフ(ル)道トノ交叉點ヲニ集合ス(「ルクスドルフ」ハ
該村落ノ西北八吉羅米)
突ノ地ニアル村落ナリ)

(備考) 運動ノ始メニ近衛軍團ハ行軍中ニ在ルモノト想像シ演習ヲ初
ムルノ相圖ハ假設敵ヨリ發放スル一發ノ空砲ヲ以テスヘシ此
相圖ニ由テ雙方共ニ其運動々作ヲ始メ凡テ軍團長ヨリ與フル
所ノ規定ヲ遵守シテ施行スヘキナリ

運動ノ制令

假設敵

第一期

近衛軍團

<p>北軍ハ其歩兵一師團ヲ「マリヤン ドルフ(ト)ヨリ歩兵一旅團ヲ「ブ ツ(ヘ)ヨリ分進セシメ南方ニ進 軍ス</p> <p>騎兵一師團ハ其右翼「リヒテンラ 「ド(チ)ノ方向ニ在リ</p>	<p>近衛軍團ハ其第一歩兵師團ヲ 「ブコウ(ホ)ニ第二歩兵師團ヲ「マ リヤンドルフ(ト)ニ進マシム</p> <p>騎兵師團ハ其左翼ニアリテ敵 ノ騎兵ヲ「マリヤンドルフ(ト)ニ 逐却ス</p>
<p>第二期</p>	
<p>北軍ハ其前衛ヲ157(ワ)及ヒ161(カ)ノ 水準點ニ進マシム(此ニ點ハ「ブコ ウ)ノ西方ト北 方トニ 在リ)</p>	<p>近衛軍團ハ進襲シ來ル敵ノ兩 翼ヲ逐却ス</p>
<p>第三期</p>	

北軍ハ其兵員ヲ集合シ「ブリッツ」
 (ハ)「マリヤンフェルド」(ニ)ノ線上「リ
 ヒテンラード」(チ)ノ東方ニ於テ急
 造堡障ヲ築造ス

近衛歩兵第二師團ハ敵ノ右翼
 ナ襲撃センカ爲メ其隊ヲ展開
 ス又近衛歩兵第一師團ハ軍團
 砲兵ト共ニ「ブコウ」(ホ)ノ近傍ニ
 在リ

第四期

右翼ハ敵ノ襲撃ヲ抗拒スルニ勇
 ナ極メ力ヲ盡シ以テ攻勢運動ニ
 變轉センヲ勉ム

第二師團ノ第一線ハ戦闘稍不
 利ニシテ退却ス

第五期

北軍攻勢運動ヲ爲サント欲スレ
 トモ遂ニ其目的ヲ達スルヲ能ハ
 ス

近衛歩兵第二旅團襲撃ニ由テ
 敵ノ右翼ヲ驅逐ス
 近衛歩兵第一旅團ハ「ブリッツ」
 (ハ)ヲ攻撃シ敵カ爲メニ前進ス

第六期

「ブリッツ」(ハ)ノ地方ニ於テ猛烈ナル戦争

第七期

北軍ハ其兵ヲ漸ク「リクスドルフ」
 (ル)ノ方向ニ退却セシム

近衛歩兵第一師團ハ略取セル
 陣地ヲ占領ス
 近衛歩兵第二師團ハ我線ノ左
 翼後ニ於テ其隊ヲ集合ス

第八期

我騎兵ハ本軍ノ退軍ヲ掩護ス

近衛騎兵師團ハ敵ノ騎兵ヲ追撃シテ之ヲ驅逐ス

第九期

軍籓ニ對スル敬禮

一軍團假設敵ニ對スル運動ハ軍團ノ檢閲トモ云フ可キモノニシテ眞ニ軍團演習ト名稱シ能ハサルモノ、如シ如何トナレハ其演習ノ順次ヲ明細ニ決定シ諸兵隊ヲシテ逐次明瞭ニ戰鬪ノ諸規即戰爭準備施行^{プロシユイト}追撃ヲ現ニ施行セシメ以テ其教育ノ確正至備セルヲ証ヲ表セシムルヲ以テ目的トスレハナリ其運動ノ叙目ナルモノヲ^{プログラム}管ニ其施行ノ細部ヲ聯合スルノ規準ニ供スルノミニシテ必^シ之ヲ確守スルノ主

旨ニハ非サルナリト是レ實ニ明解ヲ困難ナラシムル所ニシテ警ヘハ九月十四日ノ爲ニ採用シタル配備ノ如キ現ニ實地ニ於テハ見ル可ラサルモノナラン即該配備ノ主旨タルヤ直角正面變換ヲ要ス可キモノニシテ之ヲ施行スル兵ハ一軍團ノ騎兵師團ヲ先行セシムルモノナリ此場合ニ於テ其側面僅ニ小銃射距離ニ在ル敵兵ヲ此時ニ至ルマテ發見シ能ハサルノ理ナケレハナリ

運動ノ施行

諸運動ハ所定ノ順序ニ戰鬪ノ諸期ヲ經過シテ施行シタリ騎兵師團ハ三部ニ分レテ西方ニ前進ス其^リヒテンシード^トチ^ニマリヤンドルフ^ト道ニ達スルニ先チ假設敵ノ騎兵ニ襲撃セララル是ニ於テ直ニ北方ニ正面ヲ變換シ敵ノ騎兵ヲ逆襲シテ敵ノ步兵線ニ至ルマテ透却ス然レモ步兵射擊ノ爲メニ其追撃ヲ妨遮セラレ漸次西方ニ退却シ以テ近衛第二

師團ヲシテ戰線ニ入ラシムルニ至ルニ至リテハ近衛第二師團ハ敵ノ状態ヲ知ルヤ右ニ方向ヲ轉シテ之ニ應セン爲メ次ノ如ク其隊ヲ部署ス師團騎兵近衛騎兵第二聯隊ハ中隊縱隊ノ横列ヲ以テ先行シ縱隊ノ先頭ニ在リシ第三旅團ハ其聯隊ヲ二線ト爲シ「マリヤンドルフ」ト「リヒテンラード」チノ道ヨリ「マリヤンドルフ」トニ向テ行進ス

其第一線ニ在ル聯隊擲彈兵第三聯隊ハ二個ノ梯陣ヲ編制シ第一梯陣ハ成規戰鬪隊制ヲ採レルニ大隊ニシテ第二梯陣ニ在ルモノハ縱隊中隊ノ横隊ニ於ケル一大隊ナリ

第二線ノ聯隊擲彈兵第三聯隊ハ其三大隊共ニ中隊縱隊ヲ横列ニ於テ齊頭面ニ在リ

放火線ニ在ル諸中隊ハ直ニ其二小隊ヲ散兵ト爲シ該小隊ハ其中隊毎

ニ稍大ナル間隔ヲ置キ散兵線ノ狀ヲシテ數多ク密集部ヨリ成ルモノノ如キ形容ヲ爲サシム

全旅團ハ此隊次ヲ以テ前進シ散兵線ハ敵ノ陣地ヨリ四百五十米突ノ距離ニ於テ發火ヲ始メ逐次ニ飛走シテ尙ホ前進ス然レテ豫備ニ在ル諸中隊ハ所定ノ距離ヲ保テ縱隊ニ於テ進行ス

是ニ於テ審判官該旅團ノ攻襲利アラサルヲ判定ス

第四旅團ハ第三旅團ノ後方ニテ分進シ其左方ニ展開シ其二聯隊ヲ併列セシム右方聯隊ハ二大隊ヲ戰列ト爲シ一大隊ヲ聯隊豫備ト爲ス他ノ聯隊ハ戰鬪線ノ左翼ニ在ルヲ以テ一大隊ヲ戰列ト爲シ二大隊ヲ豫備ト爲ス師團砲兵ハ師團ノ右翼ニ在テ砲列ニ配置ス

此間第一師團ハ戰鬪範圍ニ到達シ其先頭ニ行進セル第一旅團ハ大道ヲ離レ「アコウ」ノ北方ニ集團ス而テ本道ノ通行自在ナルニ至ルヤ

旅團本道ヲ行進セシカ之ヲ去テ道路外ニ其隊ヲ集團セシヲ以テ本道ノ通行自在ナルニ至ル軍團砲兵ハ速歩ヲ以テ前進シ村落ヲ通過シテ其西方ノ出口ニ於テ道路ノ右方ニ砲列ヲ爲ス近衛第一師團ハ其全團ヲ「ブコウ」ノ北方ニ於テ「ブリッツ」ニ面シテ展開ス其旅團二個ヲ併列セシメ各旅團ハ聯隊ヲ二線ニ編制シ師團砲兵ハ其右翼ニ置キ其最右翼ハ師團騎兵聯隊近衛輕裝騎兵聯隊ヲシテ掩護セシム

師團ハ如斯ク隊制ヲ整備シ更ニ攻襲ヲ猛烈ナラシムル爲メ皇帝此戰地ノ部分ニ來リ玉フヲ待ツ故ニ其左方ニ配置セル第二師團トノ間隔増加スルヲ度外ニシテ一時軍團ノ正面幅員殆ト六吉羅米突ノ廣キニ至レリ

漸ク一般運動ヲ施行スルニ至リ敵ハ「マリヤンドルフ」ト「ベルリン」ト「ヨ」道及「ヒ」ブリッツ「ハ」ベルリン「ヨ」道ノ間ニ蔓延スル凸凹波狀地ヨリ退却ス

此ニ於テ騎兵師團ハ兩歩兵師團ノ中間ヨリ前進シテ「ブリッツ」(ハ)ノ西方ニ於テ退軍スル敵兵ヲ襲撃ス近衛輕裝騎兵第一師團ニ屬スモ共ニ此襲撃ヲ爲シカ爲メ「ブリッツ」(ハ)ノ東方ヨリ進撃シ以テ運動ヲ了ル

第三軍團

第三軍團モ亦伯林地方ニ舍營シテ九月一日ヨリ六日マテ旅團演習同七日十三日十四日ニ師團演習ヲ施行ス

此間ニ於テ九月十日軍團ヲ伯林ニ集合シ皇帝ノ觀兵式アリ又十一日ニハ假設敵ニ對スル軍團演習ヲ施行セリ

第三軍團ハ平時騎兵二旅團ヲ有ス即第五第六騎兵旅團ニシテ各旅團

ハ三聯隊ヨリ成ル該集團法ヲ改正シテ戰時ノ騎兵隊編成法ニ類似セ
ル編成法ヲ採用セリ先ツ各旅團ヨリ一聯隊ヲ取テ師團騎兵ト爲シ次
ニ各六聯隊ヨリ第五中隊ヲ拔出シテ臨時ニ一旅團ヲ編成ス該旅團ハ
三中隊ヨリ成ル二聯隊ヲ以テ編成スルモノナリ故ニ軍團ハ大演習ノ
爲メ次ノ如ク編成セリ

第三軍團 長 步兵中將 ヒテラネロフ ホン、シユウハルツホフ (步兵中將ハ尋常中

大將中將ノ間ニ在リ軍團長ニ當ル)

第五師團 長 中將 ホレローエ

第九旅團

第八步兵聯隊

第四十八步兵聯隊

第十旅團

第十二步兵聯隊

第五十二步兵聯隊

龍騎兵第二聯隊四中隊

野砲兵第十二聯隊第一大隊フンクイルン四中隊

工兵第三大隊第一中隊

第六師團 長 中將 ホン、ホルステル

第十一旅團

第二十步兵聯隊

第三十五步兵聯隊

獵步兵第三大隊

第十二旅團

第二十四步兵聯隊

第六十四步兵聯隊

輕裝騎兵第三聯隊四中隊

野砲兵第十二聯隊第二大隊フンクイルン四中隊

工兵第三大隊第二第三及第四中隊

騎兵師團 長 少將 ホン、ラリシユ
 第五騎兵旅團 龍騎兵第十二聯隊
 第六騎兵旅團 甲騎兵第十六聯隊
 槍騎兵第十一聯隊
 連合騎兵旅團
 第一連合聯隊 第二連合聯隊
 但此連合聯隊ハ各聯隊ノ第五中隊ヲ以テ連合スルモノナリ
 野砲兵第三聯隊ノ騎砲兵大隊(三中隊)
 軍團砲兵
 野砲兵第三聯隊第一第二大隊(六中隊)

騎兵ノ配賦法ニ就テハ既ニ先年該軍團ノ皇帝大演習ノ時ニ於テ採用シタルモノト比較シテ研究スルヲ要ス千八百七十六年ニ於テハ騎兵師團ヲ編成スルニ四中隊ヨリ成ルニ聯隊ヲ以テ編成シタル旅團三個ヲ以テセリ而シテ各聯隊ノ第五中隊ヲ拔出シ之ヲ毎三個編合シテ連合聯隊二隊ト爲シ師團騎兵ト爲セリ又千八百八十年ニ於テハ全聯隊ヲ以テ師團騎兵ニ充テ騎兵師團中ノ第三旅團ヲ編成スルニ臨時編合ノ二聯隊ヲ用ヒタリ此變革タルヤ師團騎兵ノ肝要増加スルニ原因スル乎必其因故アルヘシ本年大演習中ニ於テ該騎兵最重要ノ任務ヲ勤行セシテ見レハ其思考ノ偶然ナラサルヲ覺ルヘキナリ
 其假設敵ニ對スル諸動作ノ樞機ヲ熟知センカ爲メ近衛軍團ノ運動ニ付テノ如ク單簡ニ其一般方略及將官「ホレ、シユウルツホ」氏ノ採用シタル配備命令ノ略解ヲ次ニ記載ス

一般方略

伯林ヲ掩護スルノ目的ヲ以テ北軍第三軍團ハ「ブリッツ」(ヘ)ノ方向ニ進行シ「ツナセン」(タ)「ドレ」(ド)「スド」(ス)「鐵道上ニ於テ」(グ)「グロース」(グ)「スマヒ」(ス)「ノウ」(ウ)ヨリ進襲スル敵軍ヲ迎撃セント欲ス
特別方略

北軍

第三軍團

九月十一日ノ朝對向スル兩軍ハ「ブコウ」(ホ)ノ近傍ニ於テ相遭遇セリ
午前八時四十五分第三軍團ハ次ノ隊制ニ於テ駐止ス
前衛第十一旅團及ヒ第六師團ニ

南軍

假設敵

九月十一日ノ朝對向スル兩軍ハ「ブコウ」(ホ)ノ近傍ニ於テ相遭遇セリ
假設敵一軍團ニシテ歩兵十六大隊騎兵二十四中隊砲兵十二中隊ヲ以テ編制スルモノト想

屬スル騎兵砲兵工兵ヲ以テ編制ス「ハ」(ハ)「ブリッツ」(ヘ)村落ノ最南方家屋ノ前方ニ於テ戰鬪隊制ニ展開ス其攻撃ノ目的トスル所ハ「ブコウ」(ホ)ニシテ敵ハ該村落ヲ占領シアリ
本軍ハ「ブリッツ」(ヘ)ノ南方ニ於テ「ブリッツ」(ヘ)「ブコウ」(ホ)ノ道上ニ跨リテ集團ス
輜重隊ハ本軍ノ後方集團ス騎兵師團ハ本軍ノ右翼ニ在リ騎兵斥候ハ前面ノ地ヲ搜索スルノ際ナ

像スハ午前八時四十五分次ノ隊制ニ於テ駐止ス
前衛ハ「ブコウ」(ホ)ノ南方入口ノ路上ニ在リ
前衛ノ先頭ハ既ニ敵ト戰鬪ヲ開キタルヲ以テ前衛ノ餘兵ハ「ブコウ」(ホ)ヲ占領シ頗ル防禦ニ力ヲ盡ス
本軍ハ「グロース」(グ)「チー」(チ)「テン」(レ)ニ到着シ尙ホ道路上ニ在リ
騎兵師團ハ「リヒ」(レ)「テン」(レ)「ラ」(ド)「チ」(チ)ニ在テ「ブコウ」(ホ)ニ向テ分進ス

リ
該斥候ノ報知スル所ニ由レハ敵
兵既ニ「ブコウ」(ホ)ヲ占領シ其本軍
ハ「グロースチーテン」(レ)ノ北方ニ
分進シテ戰爭ヲ始メント欲スル
モノ、如シト

ルノ際ナリ
最後ノ報告ニ由レハ敵ハ本道
ヨリ「ブコウ」(ホ)ニ向テ進來ス其
本軍ハ「ブリッツ」(ハ)ノ近傍ニ集
團セリト

此方略ニ應センカ爲メ第三軍團長ハ左ノ如ク兵ヲ配置ス

第三軍團ノ配置法

- 予ハ「ブコウ」(ホ)ヲ占領シ且ツ「グロースチーテン」(レ)ノ近傍ニ陣セル敵兵ヲ攻撃セント欲シ次ノ命令ヲ下ス
- 第一 前衛ハ先ツ「ブコウ」(ホ)ヲ略取シ其騎兵聯隊ヲ以テ軍團ノ左

翼ヲ掩護スヘシ

- 第二 本軍ハ次ノ運動ヲ爲ヘシ
第五歩兵師團ハ「ブコウ」(ホ)ノ西方ニ行進シ「ブコウ」(ホ)「マリヤンフェルド」(ニ)ノ道上ニ於テ戰鬪隊制ヲ採ルヘシ
第十二歩兵旅團(第六師團)ハ前衛ノ東方ニ梯陣ヲ爲シ以テ「ブコウ」(ホ)ニ向テ施行スヘキ前衛ノ攻撃ヲ扶援スヘシ
- 第三 軍團砲兵ハ第十二歩兵旅團ト共ニ行進スヘシ
騎兵師團ハ其進路ヲ「ブコウ」(ホ)ノ西方ニ採リ以テ「リヒテンラード」(チ)及ヒ「グロースチーテン」(レ)ノ方向ヲ搜索シ且ツ軍團ノ右翼ヲ掩護スヘシ
- 第四 輜重隊ハ「ブリッツ」(ハ)ノ近傍ニ駐在スヘシ
- 第五 此諸運動ハ午前第九時ヲ以テ始ムヘシ

第六 予ハ始終「ブリッツ」(一)ノ南方大道ノ傍ニ在ル風礮車ノ處ニ在リ諸報告皆此地ニ致スヘシ

「ブリッツ」(一)ノ南方入口ニ於テ千八百八十年九月十一日午前八時四十五分

軍團長 ホン、シユワルツホフ

假設敵ニ與フル教旨

- 第一 前衛ハ「ブコウ」(ホ)ヲ占領シ敵ノ攻撃ヲ逐却スヘシ
- 第二 敵ノ第二攻撃ニ由テ前衛ハ「ブコウ」(ホ)ヲ棄テ「ドロースチー」(レ)ノ方向ニ退却ス此時敵騎ノ襲撃ヲ受ク可シ
- 第三 此間騎兵師團ハ「リヒテンラード」(チ)ヨリ發シテ「ブコウ」(ホ)ノ西方ヲ搜索セント欲スレ共敵騎ノ襲撃ヲ受ケ遂ニ退軍ス
- 第四 本軍ハ「ドロースチー」(レ)ノ北方ニ陣地ヲ占領シ其右翼

- 第五 敵ハ「ブコウ」(ホ)ノ西方ニ歩兵一師團ヲ展開シ該村ノ東方ニハ其砲兵(六中隊)及ヒ歩兵一旅團ヲシテ戰線ニ入ラシム
- 第六 「ウハ井ンベルヒ」(ヌ)岡ノ陣地ヨリ三大隊前進シテ敵ノ歩兵旅團ニ向テ進撃ヲ行ヘ且利アラスシテ追却セララル
- 第七 第三軍團ハ其歩兵ヲ以テ陣地ノ兩翼ヲ攻撃ス

該攻撃ヲ拒防センカ爲メ假設敵ハ極メテ猛烈ナル火力ヲ用フヘシ(射撃力ノ最大勢力ヲ用ユ)

豫備兵ハ其左翼ヲ補充シ更ニ勢力ヲ増加ス

第八 敵ノ第一侵襲ハ射撃ノ威力一般ニ神速激烈ナルカ爲ニ利アラズ

第九 敵ノ第二陣侵襲ノ準備ヲ爲スヲ見ルヤ直ニ砲兵ヲ「グロースチーテン」(レ)ノ南方ナル應援ノ陣地ニ備フヘシ

第十 歩兵ハ其陣地ヲ棄テ「クライネチーテン」(ソ)ノ方向ニ退軍ス敵ハ其騎兵襲撃ヲ以テ假設敵ノ退軍ヲ窘迫シ其歩兵砲兵ヲシテ追撃發火ヲ行ハシメ以テ退軍スル假設敵ヲ壓倒スルヲ計ル

〔備考〕 假設敵ヲ騎兵及砲兵ニハ諸般ノ運動ヲ施行シ攻撃ヲ爲ス

運動ノ施行

所定ノ命令ノ如ク第三軍團ハ「ブリッツ」(ヘ)ノ南方ニ集合シ其三旅團ハ集合ノ隊制ヲ採テ該村落南方ノ出口ニ在リ騎兵師團ハ右翼ニ集團シ軍團砲兵ハ左翼後ニ在リ

第十一旅團ハ前衛ト爲リ千二百米突前方ニ於テ「ブリッツ」(ヘ)「ブコウ」(ホ)ノ道上ニ跨リ「ブコウ」(ホ)村落ニ面シ二線ノ聯隊ヲ以テ戦闘順次ヲ採レリ其第一線ニ在ル聯隊第二十聯隊ハ其二大隊ヲ以テ道路ノ左右ニ定規戦闘順次ヲ採ラシメ前線ニ在ル各中隊ハ只一小隊ノミヲ散開シテ戦線ト爲シ散兵ハ各一米突ノ間隔ヲ存セリ然シテ其第三大隊ハ豫備隊ト爲リ縦隊横列ノ隊制ヲ採ル此時散兵線ハ「ブコウ」(ホ)ヨリ大概子六

百米突ノ距離ニ在リ
 演習ヲ始ム可キ時刻ニ至レハ第十一旅團ハ上ニ記セル隊次ニ於テ前
 進シ其散兵線「ブコウ」(ホ)ヲ距ル五百米突ニ至ルヤ該村家屋ヨリ放射ス
 ル歩兵火ノ爲ニ防止セラル是ニ於テ直ニ他ノ二小隊ヲシテ散兵ノ兩
 翼ヲ増加セシメ其線ヲ延暢シ全散兵線ニ彈數限定發火ヲ行ハシム又
 援隊及豫備中隊ハ敵ノ第一砲聲ニ於テ直ニ其縱隊ヲ制ヲ變シテ橫隊
 ヲ制ヲ探ル
 前進運動ハ絶ニス逐次飛走ヲ以テ之ヲ行ヒ其新位地ヲ占取スル毎ニ
 諸散兵ハ彈數限定發火ヲ爲シ援隊ハ齊發ヲ爲シ然レテ該村落ノ境界
 ヨリ三百五十米突ノ距離ニ至レハ散兵線ニ入り迅速發火ヲ爲シ豫備
 中隊ハ散兵線ニ近接シテ侵襲ヲ行フ
 審判官該侵襲村落ニ向テ行フニ砲兵火ヲ以テ侵襲ノ時期ヲ準備ス

ルコ少ク且不充分ナル兵力ヲ以テ施行シタルヲ以テ其結局ヲ見ルコ
 能ハス追却ヲラレモト判定ス是ニ於テ此侵襲ヲ試ミタル二大隊
 ハ退軍ス其聯隊豫備スル大隊ハ後方ニ於テ其隊ヲ展開シ七百五十米
 突ノ距離ニ在テ大隊齊發ヲ施行シ敵ノ逆襲ヲ抗拒驅逐セリ
 此前衛戰爭ノ間本軍ハ漸ク前進シ第十二旅團第六師團ノハ第十一旅
 團ノ左方ニ展開ス是ニ於テ第十一旅團ハ其退軍運動ヲ止ム而第五師
 團ハ其全部ヲ右翼ニ展開ス
 斯ノ如ク兵員増加スルヲ見ルヤ敵兵ハ我攻襲ヲ待タスシテ「ブコウ」(ホ)
 ヲ棄テ其本軍ノ陣スル方向ニ退却ス該陣地ノ右翼ハ「ウハ」(井)「ベルヒ」(又)
 岡上ニ托シ其左翼ハ小林Aニ依頼ス又該陣地ハ其全部既ニ急造構築
 法ヲ以テ防禦法ヲ設備セルモノナリ
 第三軍團ノ騎兵師團ハ敵ノ退軍ヲ急迫シ「ブコウ」(ホ)「リヒ」(テ)「ラード」(チ)

道ト「ブコウ」(ホ)「グロース」(ホ)「チーテン」(レ)道トノ中間ノ敵ヲ掃除ス軍團砲兵及ヒ第六師團ノ砲兵ハ「ブコウ」(ホ)ノ南東ニ砲列ヲ編成シ以テ「ウ」ハ井ンベルヒ(又)岡ノ攻襲ヲ準備ス

第三軍團ハ此時ニ當リ其全部ヲ展開セリ其旅團ハ右方ヨリ左方ニ至リ編制順序ヲ保チ配列セラレタリ各旅團ハ其聯隊ヲ二線ト爲シ第一線ニ在ル四聯隊ハ各其三大隊ヲ併列シ該諸大隊ハ皆定規戰鬪隊制ヲ採レリ第四十八聯隊ノ諸大隊ハ各其四中隊ヲ一線上ニ置キ各中隊ハ其一小隊ヲ散兵線ト爲シ他ノ二小隊ヲ援隊ト爲スヲ異ナリトス

第二線ニ在ル諸聯隊ハ其大隊ヲ或ハ併列セシメ或ハ梯形ニ配置ス大隊中ニ於テ四個ノ縱隊中隊ハ「基盤形」ニ配布セシム

師團ハ其全部ヲ前進セシメ敵ノ陣地ヨリ千二百米突ノ距離ニ至ル時一二大隊ヲ中隊或ハ小隊ノ齊發ヲ施行ス

此運動ハ先キ「ブコウ」(ホ)ニ向テ爲セシ如ク順次ニ施行シ第六師團ハ「ウ」ハ井ンベルヒ(又)岡ヲ攻襲シ第五師團敵ノ左翼ナル小林及ヒ其中間ニ在ル掩堡ヲ襲撃ス此攻襲ハ二所共ニ追却セラレハモノト判定スルヲ以テ第二線ニ在リシ聯隊ハ此時前進シテ退軍スル第一線ヲ通過ス其最右端ニ於テ第九旅團第三線聯隊ハ第一線聯隊ノ右方ヲ回リテ前進ス

此新散兵線ヲ以テ更ニ侵襲シ敵ノ陣地ヲ略取シ而敵ノ退軍ヲ齊發ヲ以テ追射ス

是ニ於テ軍團長其運動ヲ停止ス

二軍團對抗演習

對抗野外大演習ハ九月十六日ヲ以テ始ム
九月十五日二軍團ハ其指定セラレタル舍營ヲ占領シ此日一般方略ヲ
受領シ諸運動ノ始點ヲ知ル

一般方略

伯林府ハ寡少ノ兵員ヲ以テ占守スト云フノ報ヲ得テ南軍ハ南方
ヨリ來リ伯林ニ集輻スル鐵道ヲ以テ其兵ヲ「チエロー」運河(ラ)ノ邊マ
テ運搬シ九月十五日ニ於テ「キ」ニヒス、グステルハウゼン(子)「ミテ
ハ」ハ(ド)「ツ」ノ東北六「ミ」テ「ン」ウルド(ウ)及ヒ「グ」ロー「ス」マヒ「ノ」ウ(ナ)ヲ
占領セリ

北軍ハ伯林ヲ發シテ敵ノ方向ニ進軍ス
九月十五日ノ舍營線ハ「テ」ル「ド」ウ「マ」リ「ヤ」ン「フ」エルド(コ)ノ「西」マ「リ」ヤ
方十二吉羅米突ニ在リ

ン「フ」エルド(ニ)及ヒ「ル」ドウ(ロ)等ノ村落ヲ以テ書定ス該地ハ近衛軍
團ノ占領スル所ナリ

臨時編制ノ旅團 近衛銃手聯隊、教育大隊、ボツダム下士學校、二中隊
教育砲兵中隊及ヒ近衛輕裝騎兵一中隊ヲ編合ス 最

初近衛軍團ニ附屬ス故ニ該軍團ハ人員甚多シ

一般方略ニ外各軍團長ハ特別方略ヲ受領ス此特別方略ハ實地ニ於テ
軍ノ指揮長官ヨリ授クル所ノ計畫令及ヒ教令ニ於ケルカ如キモノナ

特別方略

北軍	近衛軍團	南軍	第三軍團
北軍ハ敵ノ人員寡少ナルヲ以テ		南軍ハ「ド」レスド「伯」林(三)鐵道	

之ヲ「チ」ニ「ロウ」運河(ヲ)ニ「マ」テ驅逐スヘキナリ
九月十六日ノ集合所ハ「ブリ」ツ「(ヘ)」ラン「ク」ウ「サ」ツ「ム」ノ線上ニ於テ

〔備考〕前進運動ハ午前九時四十五分ヲ以テ始ムヘシ

リ援兵ノ來到スルヲ俟ツ故ニ該援兵ノ鐵道ヨリ下車スルヲ得セシムル爲メ「グ」ロ「ー」ス「マ」ヒ「ノ」ウ「ナ」ノ前地ヲ占守シ安全ナラシムヘキナリ「グ」ロ「ー」ス「マ」ヒ「ノ」ウ「ナ」ヲ援兵下車ノ地ト定ム
九月十六日ノ集合所ハ「ブ」ラ「ン」チ「ン」フ「エ」ル「ド」(ウ)「ゼ」ル「ヒ」ロ「ウ」(井)ノ線上ニ於テス
〔備考〕前進運動ハ午前八時四十五分ヨリ始ムヘシ

該一般方略及ヒ之ヲ完全ナラシムル爲メノ特別方略トニ因リ各軍團

長ハ九月十五日夕翌日ノ配置法ヲ決定セリ
九月十六日ノ配置法

北軍 近衛軍團

近衛軍團 司令本部

伯林千八百八十年九月十五日午後第六時

敵ハ一軍團ヲ以テ鐵道ヨリ來リ本日「キ」ヨ「ニ」ヒ「ス」ツ「ス」テ「ル」ハ「ウ」セ「ン」(子)「ミ」テ「ル」ウ「ハ」ルト「ツ」グ「ロ」ー「ス」マ「ヒ」ノ「ウ」(ナ)ヲ占領ス

近衛軍團ハ明日敵ノ軍團ニ向テ攻勢ヲ採リ之ヲ「チ」ニ「ロウ」運河(ウ)

南軍 第三軍團

當軍團ハ「グ」ロ「ー」ス「マ」ヒ「ノ」ウ「ナ」

ノ停車場ニ於テ我援兵ノ來着シテ下車スルヲ容易ナラシメ保護スルヲ要ス

此故ニ予ハ敵兵ニ向テ行進セント欲ス然レ該敵ハ伯林ヨリ獲シテ我方向ニ進來スル所ニシテ其兵員ノ幾干ナルヤハ未ダ之ヲ知ルコト能ハス

ニ追却スヘシ
 近衛騎兵師團ハブリッツ(ヘ)ノ東
 方リクスドルフ(ル)ルドウ(ロ)スド
 ルフ(ル)ハブリツ(ヘ)ノ北方大路
 凡三吉羅米突ノ地ニ在リ
 上ニ於テ編制シ午前第九時十五
 分ヨリ前進シテキニヒスゾス
 テルハウゼン(子)ミテンゾ(ハ)ルド
 (ツ)グロトス、マヒノウ(ナ)ノ線ニ到
 着センコトヲ務メキシ
 該師團任務メテ廣ク地形ヲ搜索
 シ敵ノ動靜衆寡ヲ偵察シ若シ之
 チ要スレバ暫時四方ヲ瞰望スヘ

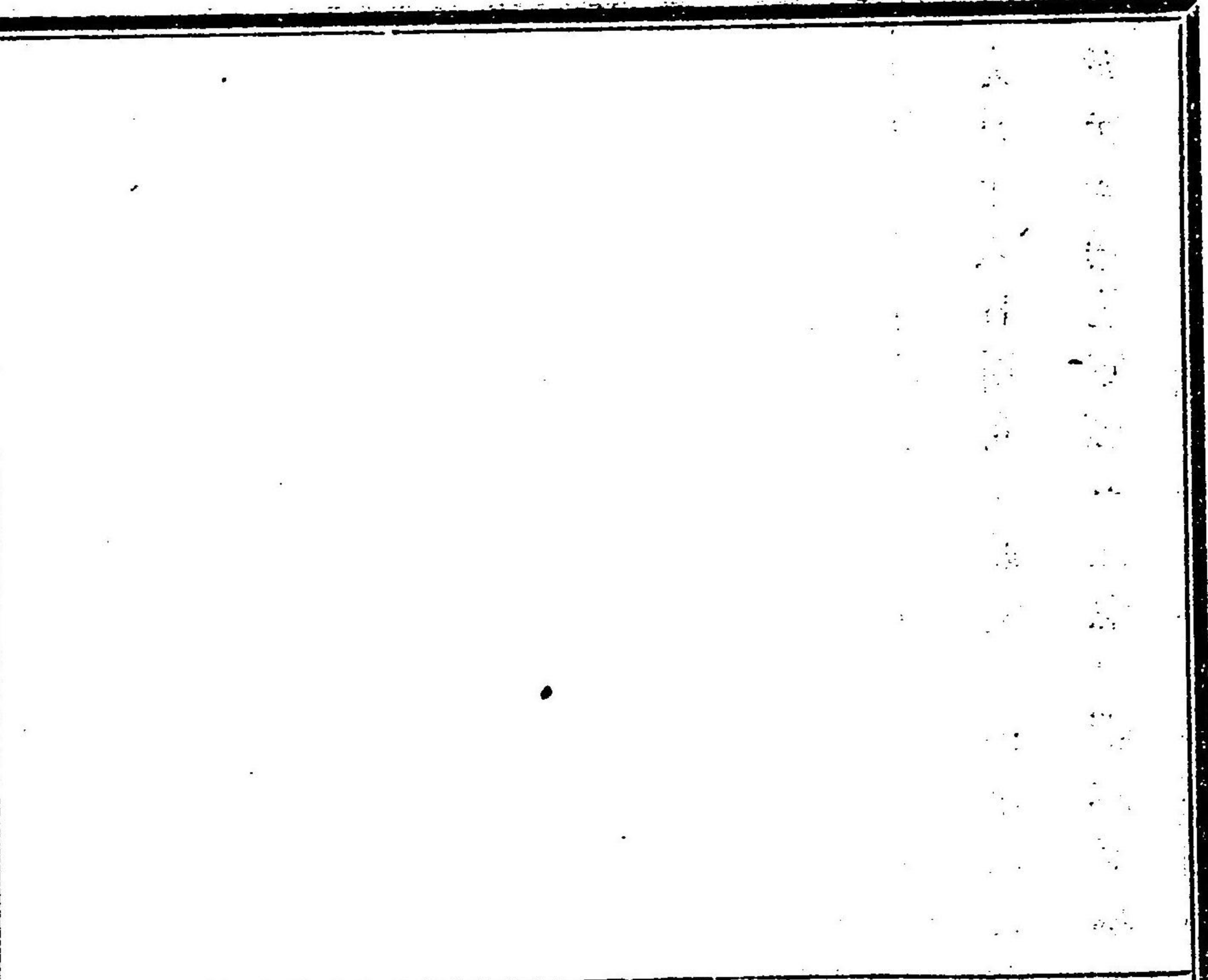
第一 九月十六日午前第八時三
 十分軍團ハ集合隊制ヲ採リ次
 ノ諸點ニ在ルヘシ
 騎兵師團ハゼルヒ(ウ)井ノ東
 方入口ニシテ「ロチス」(オ)ニ通ス
 ル道ノ東方ニ
 第五歩兵師團ハ「ゼルヒ(ウ)井」
 南方入口ニ於テ「ブルゼンドル
 フ」(ク)ニ至ル路上ニ
 第六歩兵師團ハ獵歩兵大隊ヲ
 從ヘ「グラゾウ」(ノ)ノ南方入口ニ
 於テ大路ノ近傍ニ

キ陣地ヲ占領ズヘシ
 近衛歩兵第一師團ハ「マリヤンド
 ルフ」(ト)ノ南方ニ整列シテ午前第
 九時十五分ヨリ前進シテ「リヒラ
 シ」(ラ)ード(チ)及「グラゾウ」(ノ)ヲ經過
 シ「グロース、マヒノウ」(フ)ニ向フ可
 シ
 近衛歩兵第二師團ハ「ブリッツ」(ヘ)
 ノ南方ニ集合シ「グロース、チーテ
 シ」(レ)ゼルヒ(ウ)井(チ)經テ「ミテン
 ウ」(ド)「ツ」ニ行進スヘシ
 連合旅團ハ「ランクウ」(ム)ノ南

軍團砲兵ハ第六歩兵師團ノ後
 方ニ
 輜重兵ハ「ダールム」(ヤ)ノ南
 方入口ニ
 第二 各師團各別ニ前衛ヲ編成
 シ兩師團ノ前衛ハ「ゼルヒ(ウ)井」
 及「グラゾウ」(ノ)ノ北方入口ニ在
 ル可シ
 第三 諸運動ハ八時四十五分ヨ
 リ始ムヘシ
 騎兵師團ハ我軍團ノ前方ヲ搜
 察スルノ目的ニ於テ「グロース、

方ニ整列シ九時十五分ヨリ「マリヤンフェルト」(ニ)ヲ經テ「マールロウ」(マ)ニ向テ行進スヘシ
 軍團砲兵ハ「ブリッツ」(ヘ)ノ南方第二歩兵師團ノ後方ニ於テ整列シ該師團ノ先頭旅團ノ後尾ニ行進スヘシ
 予ハ近衛歩兵第一師團ノ先頭ニ行進ス
 ウルタンベルヒ公「チャーギ」ト

チーテン(レ)及リヒテンロード(チ)ヲ經テ伯林ニ向テ行進シ而「グロース、チーテン」(レ)及ヒ「リヒテロード」(チ)ヲ步兵隊ノ來到スルマテ確實ニ占領シ以テ「ルドウ」(ロ)ヨリ來ルヘキ敵ノ迂回ヲ妨障シ我軍團ヲ保護スヘシ
 第五歩兵師團ハ「クライチ、チーテン」(ツ)及ヒ「グロース、チーテン」(レ)ヲ經過シテ前進シ軍團ノ右側ヲ警戒スヘシ其警戒スヘキ點ハ先ツ「シーヌフェルト」(ケ)ハ



方向次ニ「ルドウ」(ロ)ノ方向
 第六歩兵師團ハ「リヒテンロード」(チ)ヲ經テ前進シ軍團ノ左側ニテ先ツ「マールロウ」(マ)ノ方位次ニ「マリヤンフェルト」(ニ)ノ方位ヲ警戒スヘキナリ
 輜重隊ハ「ダールウ」(ヤ)ノ近傍ニ駐止スヘシ
 第四 各師團ハ「グラゾウ」(ノ)及「ゼルヒヨウ」(井)ノ近傍ニ工兵一中隊ヲ殘シ置クヘシ
 工兵第二及第四中隊ヲ殘ス該二中隊ハ參謀少佐「ホン、

ランゲンベック氏ノ指揮ヲ受ケ
 「ルク」河ニ數多ノ橋ヲ架シ且
 其前方ニ輕便ナル土工ヲ以テ
 諸橋梁ヲ防禦スルノ設備ヲ爲
 スヘシ
 第五 予ハ第六歩兵師團ノ本隊
 ノ先頭ニ在リ諸報告此地ニ致
 スヘシ

軍團長 ホン、シュウハルツホフ

九月十六日所定ノ時刻ニ兩軍團行進ヲ始メ近衛軍團ハ三個ノ縱隊ニ
 於テシ第三軍團ハ二個ノ縱隊ヲ以テス雙方共ニ騎兵師團ヲシテ行軍

縱隊ニ先行セシム而第三軍團ノ騎兵師團ハ「グロース、チーテン」及「リ
 ヒテンラード」ヲ搜索シ其後方ニ續キ來ル師團騎兵ヲシテ此地ヲ占
 領セシム然ル後少時行進スルヤ其搜索騎兵報告スルニ近衛騎兵師團
 「プロウ」(ホ)ノ東南ニ在ルヲ以テス是ニ於テ師團ハ「ウム、井ンベ、ヒ」(又)東
 方ノ斜面ニ集團シ其砲兵ハ該岡「ウハ、井ンベル」ノ高點ニ配置シテ近衛騎
 兵ヲ砲撃ス
 第三軍團ノ左翼前ニ於テハ第六師團ノ師團騎兵「チーテン」ノ地形ヲ巧
 妙ニ利用シ敵ノ爲メニ發見セラレスシテ「マリヤンフェルド」ニ「プロウ
 (ホ)道」ノ北方ニ到着シ近衛兵行軍縱隊ノ先頭ニ接近スルヲ得其兵員及
 ヒ方向ヲ我本軍ニ通報ス第五師團ニ屬スル騎兵聯隊ハ兩師團ノ中間
 連絡ヲ保持ス
 該第一報告ニ由テ軍團長ハ敵兵我ヨリ衆ク且攻勢ヲ採リタルヲ知リ

是ニ於テ我援軍ノ下車スヘキ地ヲ堅固ニ保守スルノ目的ヲ以テ第五師團ニ命シテ「グロース、チーテン」ヲ占領シ防禦ノ設備ヲ爲サシメ又第六師團ヲシテ「リヒテンラード」ヲ防禦セシムルノ命令ヲ傳フ

第五師團ノ前衛砲兵ハ「ウ、井ンベルヒ」ニ至リ騎砲兵ト共ニ砲列ヲ配布シ工兵ハ此地ニ急造肩牆ヲ築造ス第五師團ノ他ノ砲兵ニ中隊及ヒ軍團砲兵全隊ハ「グロース、チーテン」ノ西方ニ占位シ此地ヨリ「ブコウ」ヨリノ進路ヲ射撃シ且近衛第二師團ノ砲兵四中队ニ應射ス

該四中队ハ其師團ニ先チ「ブコウ」ノ南方ニ來テ陣地ヲ取り僅ニ其師團騎兵ノ護衛ニ由テ「ウ、井ンベルヒ」ニ攻撃ヲ準備セントスルモノナリ

暫クシテ十時頃近衛第二師團ノ前衛聯隊擲彈兵第四聯隊「ブコウ」ヨリ進ミ前衛ノ先頭ナル一大隊ハ直ニ「ブコウ」ニ「グロース、チーテン」道ニ跨リ

テ展開シ其四中队ヲ并列セシメ各中队ハ其一小隊ヲ散兵線ト爲ス故ニ大隊ハ六百乃至七百歩四百五十米突乃至五百二十五米突ノ面ヲ占領シ千米突ノ距離ニ在テ「ウ、井ンベルヒ」ニ向テ小隊齊發ヲ行フ他ノ二大隊ハ尙ホ「ブコウ」ヲ占據ス

此動作ヲ爲ス間近衛騎兵師團ハ「ウ、井ンベルヒ」ニ向テ敵ノ砲兵陣地ノ脆弱ナルヲ偵知シタルヲ以テ一舉シテ之ヲ陷レンコトヲ計リ先ツ東方「ルドウ」ノ方向ニ運動シ俄ニ西南ニ其進路ヲ轉シ三線ニ備ヘテ「ウ、井ンベルヒ」ニ突進ス然ルニ第三軍團ノ騎兵師團ハ其兵員ヲ比較シテ寡弱ナルヲ以テ直接ニ之ヲ支障スルヲ能ハスト雖モ巧ニ協側ノ陣地ヲ占領シテ近衛騎兵ノ側面ヲ襲撃ス此時恰モ好シ第五師團前衛先頭ノ散兵來リ該砲兵ヲ援護シ得ルヲ以テ接近ノ距離ニ於テ正面ヨリ神速射撃ヲ行ヒタルニ由リ此兩兵ノ爲ニ近衛騎兵ハ追却セラル

ノモノト判定ス

此間近衛第二師團ノ本軍「ブコウ」(ホ)ニ達シ擲彈兵第二聯隊ハ前衛ノ聯隊四聯隊ニ代リ村落ヲ占領シ以テ該聯隊ヲ前進セシム

第三旅團ハ「ブコウ」(ホ)村落ノ西方七百乃至八百米突ノ地ヲ回リテ「グロ」(ス、チー)「タン」(レ)ノ方向ニ前進ス該旅團ハ其兵ヲ三線ト爲シ各線相距ルヲ二百乃至三百米突ナリ其第一線ハ擲彈兵第三聯隊ニシテ二梯陣ヲ爲シ其第二線ハ擲彈兵第一聯隊ノ三大隊ヲ并列シタルモノニシテ其第三線ハ銃手大隊ナリ此前進運動ハ頓テ「ウ」ハ「井」(ン)「ベル」(ヒ)「ヌ」(又)岡ノ大砲ヲ爲ニ遮止セラル故ニ第一聯隊ハ第三聯隊ノ右方ニ開キ此二聯隊ハ各其第二大隊ヲシテ定規戰闘隊制ヲ採ラシメ一大隊ヲ豫備兵ト爲ス而全旅團ノ諸兵ハ皆伏臥ス敵ノ砲兵火ヲ避ケンカ爲メ且

近衛ノ軍團砲兵ハ第二師團ノ師團騎兵ニ援護ヲ依托シテ斷然前進シ

以テ「ウ」ハ「井」(ン)「ベル」(ヒ)「ヌ」(又)岡ヲ壓倒セントス

近衛軍團ノ右翼ノ運動モ大抵同一ノモノナリ即次ノ如シ

近衛第一師團ノ前衛敵ノ「リ」ヒ「テ」ン「ラ」(ド)「チ」ヲ占領スルヲ偵知スルヤ否ヤ縱隊先頭ニ「ア」リ「シ」師團砲兵ハ進シテ「マ」リ「ヤ」ン「フ」ユ「ル」(ド)「コ」(ニ)「リ」ヒ「テ」ン「ラ」(ド)「チ」道ノ西方ニ放列ヲ配布シ以テ「リ」ヒ「テ」ン「ラ」(ド)「チ」村ヲ砲射ス第二旅團ハ道路ニ跨リテ展開シ第一旅團ハ其左方ニ戰闘隊制ヲ採ル然シテ全師團ハ「リ」ヒ「テ」ン「ラ」(ド)「チ」ヲ以テ其攻撃ノ目標ト爲ス然ルト雖モ該村落ノ周邊及最端家屋ヲ堅固ニ占守シタル敵ノ發火甚々猛烈ニシテ前進ノ運動極メテ困難ナリ

「リ」ヒ「テ」ン「ラ」(ド)「チ」「グ」ロ「ス」(チ)「ー」テ「ン」(レ)「ウ」ハ「井」(ン)「ベル」(ヒ)「ヌ」(又)岡ニ至ル全線ニ於テ第三軍團ハ近衛軍團ノ攻撃ヲ拒抗ス

此時ニ於テ連合旅團ハ右翼ノ端ニ其動作ヲ爲ス該旅團ハ巧ニ進路ヲ

取テリヒテンラード(チ)ノ西方(ド)レズド(ベル)リン(三)鐵道ノ先ニ蔓莖鬱蒼タル森林中ヲ通過シテ村落ニ近接セシテ以テ守者ハ只其急速發火ノ爲ニ生スル烟雲ニ由テ漸ク其位置ヲ識別シ得ルカ如シ該旅團ノ兵ハ鐵道ノ堤蔭ニ其身ヲ掩匿シテ自在ニ射撃ヲ行ヒ其砲兵ハ稍後方ニ於テ高地上ニ配置セリ

リヒテンラード(チ)ノ守者ハ斯ノ如ク正面側面ヨリ同時ニ攻襲セシレ殊ニ連合旅團ノ動作ハ其背後ヲ遮斷セントスルノ勢アルヲ以テ猶豫セス村落ヲ棄テ其南方ナル森林ニ退軍シ該森林ヲ占領シ林縁ニ急速掩堡ヲ設築シテ之ヲ防守スルヲ勉ム

十一時三十分頃近衛軍團ノ戰線ハ鐵道ノ平地ヲ通スル點ヨリリヒテンラード(チ)ヲ通シテ(ゴ)ウ(ホ)ノ南方ニ至ル而之ヲ占領スルモノハ連合旅團最右翼ニ在テ(ド)レズド(ベル)リン(三)鐵道ニ沿フテ備ヘ第二旅團ハ鐵道ヨリ

リヒテンラード(チ)ニ至リ第一旅團ハ該村落ノ東方ニ軍團砲兵ハ(ウ)ハ(井)ン(ベ)ル(ヒ)又(及)グ(ロ)ース(チ)ー(テ)ン(レ)ニ向テ放列ニ配置シ第二師團ハ(ゴ)ウ(ホ)ノ南方ニ在テ上文ニ記載シタル如ク停止シ其師團砲兵及軍團砲兵ノ射撃ニ由テ(ウ)ハ(井)ン(ベ)ル(ヒ)又(及)グ(ロ)ース(チ)ー(テ)ン(レ)ノ攻襲ヲ準備シ此點ニ向テ進軍シ得ルノ時ヲ俟ツ其最左翼ニハ(ゴ)ウ(ホ)グ(ロ)ース(チ)ー(テ)ン(レ)道ノ東方ニ騎兵師團アリ故ニ近衛軍團ノ戰鬪輻員ハ六吉羅米突餘ニ至レリ
第三軍團ハ之ニ比スレハ大ニ其兵ヲ集團シ第六師團ヲリヒテンラード(チ)ノ南方ノ森林中ニ第五師團ハ(グ)ロ(ー)ス(チ)ー(テ)ン(レ)ノ村落中ニ騎兵師團ヲ最右翼(ウ)ハ(井)ン(ベ)ル(ヒ)又(及)ノ東方ニ備ヘタリ
近衛軍團ハ其全部前進ス第一師團ハ森林ニ向ヒ第二師團ハ(グ)ロ(ー)ス(チ)ー(テ)ン(レ)ニ向フ

蓋狹路ハ工兵前日ノ命令ニ由テ防禦法ヲ施シタルヲ以テナリ○騎兵師團ハ此退軍運動ヲ掩護ス

敵「ボルケンズベルヒ」(コ)ヲ棄去ルヲ見ルヤ近衛騎砲兵一中隊ハ第二師團ノ師團騎兵ノ援護ニ由リ速駢ヲ以テ來リ之ニ占據ス此騎兵聯隊ハ此點ヨリ退軍スル敵ノ歩兵ヲ襲撃ス

本日ノ運動ハ午後第一時ヲ以テ終リ「クライ子」ト子ルベルヒ(エ)岡上ニ於テ演習審判及參謀本部長該日演習ノ巧拙ヲ論シ戰爭ノ勝敗ヲ斷定スルヲ爲シタリ

近衛軍團長ハ其陷レタル陣地ヲ占領シ其軍團ノ運動ヲ止ム

第三軍團長ハ防守ノ戰勢ヲ採リ一般方略ノ主旨ニ基キ我援軍ノ來到スルニ至ルマテ歩々敵ヲ拒防セサル可ラス之カ爲ニ其軍團ヲ「グラソウ」(ア)「セルヒヨウ」(井)狹路ノ後方ニ退却セシム此狹路ハ既ニ如斯基不慮

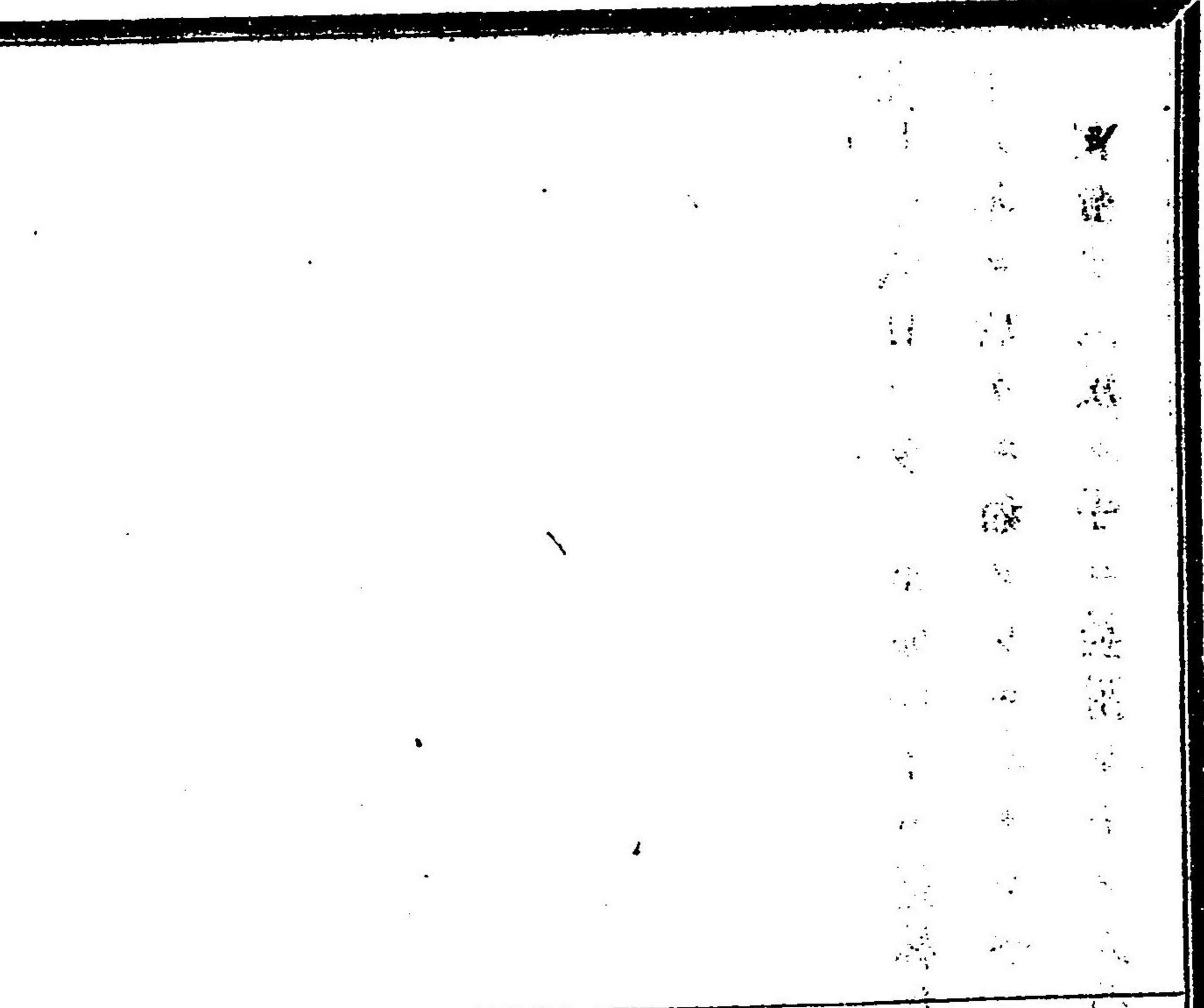
ノ事變アラシキ前見テ軍團長防禦ノ結構ヲ爲サシメタルモノナレバナリ

十六日夕兩軍團ノ位地ハ次ニ記載スル如ク第三軍團ノ計畫令及近衛軍團ノ位地表ニ示ス所ニ從フ

北軍	南軍
近衛軍團	第三軍團
九月十六日夕北軍ノ位地 連合旅團ハ「マトローマ」(ノ)近衛ニ在リ 近衛步兵第一師團ハ軍團砲兵ト共ニ「グヒテンラード」(チ)ノ近傍ニ	軍團ノ計畫令 第一軍團ハ「グラソウ」(ノ)「セルヒヨウ」(井)ノ狹路ノ後方ニ退却シ 次ノ位地ニ露營ス可シ 第五步兵師團ハ「セルヒヨウ」(井)

在リ
 近衛歩兵第二師團ハ「グロース、チ
 ーテン」(レ)ノ近傍ニ在リ
 近衛騎兵師團ハ「ルドウ」(ロ)ノ近傍
 ニ在リ
 前哨線ハ「マロー」(マ)ノ南方ヨリ
 起リ「クライ子、チート子ルベルヒ」(エ)
 及「ホルケンスベルヒ」(コ)ノ高地ヲ
 經過シテ尙ホ東方ニ延暢スベシ
 近衛野砲兵第一聯隊ノ騎砲兵中
 隊ハ軍團砲兵ヲ去テ騎兵師團ニ
 附屬スル騎砲兵大隊中ニ入ルベシ

ノ後方ニ
 第六歩兵師團及軍團砲兵ハ「グ
 ラゾウ」(ノ)ノ後方ニ騎兵師團ハ
 「ロチス」(オ)ノ近傍ニ
 第二 各師團ハ特別ニ前哨ヲ以
 テ掩護シ其兵員ハ
 歩兵一聯隊騎兵一聯隊砲兵一
 中隊ニシテ該前哨ハ「グラゾウ
 (ノ)」「ゼルヒヨウ」(井)ノ狹路ノ北方
 ニ配布シ其線ハ該地ニ築設セ
 ル堡壘ヲ以テ畫スル線ニ準ス



第五歩兵師團ハ其右側「チーパ
 ムセー」(テ)「シヨネフルト」(ケ)「ルド
 ウ」(ロ)ノ方向ヲ掩護シ其前面ノ
 道路ハ略圖上ニ示ス第一號ヨ
 リ第七號ニ至ル堡障ノ線ヲ占
 領スヘシ 略圖ハ得ルコト能ハ
 位地ヲ知リ難シト雖モ其前哨
 線ハ「マリヤンベルヒ」(ス)「チーパ
 ムセー」(テ)ノ北方境界「ウハスマン
 スト」(フ)「ア」ノ北方境界「森林」
 北縁「ウハスマン」(ス)「ド」(ア)「ヨ
 リ」(ド)「レ」(ス)「ド」(ア)「ヨ
 ラゾウ」(ノ)ノ北方一吉羅米突
 地ヲ經過ス
 第六歩兵師團ハ其前面ノ道路
 略圖上ニ記載スル第八號ヨリ

第十六號ニ至ル堡障ノ線上ニ
アルモノヲ占守シ鉄道ノ通路
及ヒ道路ノ「ブランケンフェルド」
(ウ)方向ニ在ル者ハ委ク之ヲ破
壞スヘシ

九月十六日午後一時三十分
「グラソウ」(ノ)北方ノ高地ニ於テ
軍團長「ホシ、シュウ、ハルツホフ」

九月十六日ノ夕 皇帝陛下ハ墨林堡大侯ヲ厚遇スル爲メニ千八百七
十六年ニ於ケル如ク「ウニルタンベルヒ」公「チーギスト」ヲシテ近衛軍團
ノ司令ヲ大侯ノ手ニ委附セシメ大演習ヲ殘リ二日間ハ墨林堡大侯近

衛軍團ヲ指揮ス

九月十五日ニ配布セラレタル一般方略及特別方略ヲ改正セサルヲ以
テ兩軍團長ハ九月十七日ノ爲メニ次ノ計畫ヲ布告ス

九月十七日ノ配置

北軍

近衛軍團

司令本部

第一課第五號

近衛軍團ハ本日ノ戰爭ニ勝利ヲ得
テ敵ヲ「グラソウ」(ノ)狹路ノ後方ニ逐
退シタリ

南軍

敵ハ其前哨ヲ「マートー」(「マ」)「グ」ラ
イ子、チーテン「ツ」方向ニ配布シ
タリ

予カ企謀スル所ハ敵ヲシテ「グ
ラソウ」(ノ)狹路ヲ通過シ能ハサ

敵ハ只其前哨ノミチ「グラソウ」ノ狹路ノ此方北方ニ配置セリ予ハ明日攻勢ヲ採リテ敵ノ右翼ヲ迂回シ以テ尙ホ勝利ヲ全カラシメント欲ス

此目的ニ於テ次ノ命令ヲ爲ス

其一 騎兵師團ハ明朝九時三十分ヨリ「ヨーンフェルド」ニ分進シ敵ヲシテ「ウハスマンズドルフ」(ア)「キーケブーシニ」(ミ)ノ線ヲ洞視シ能ハサラシメ且其敵ノ右翼ヲ視察ス

ラシムルニ在リ

此故ニ予ハ次ノ如ク命令ス

其一 前哨ハ「グラソウ」ノ「ゼルヒヨウ」(井)狹路ノ北方ニ築設セル陣地ヲ固守シ假令何等ノ困難アルモ一歩々々ナラテハ此陣地ヲ退却ス可ラス

其二 明日午前第九時三十分即運動ヲ始軍團ハ本日マテ所定ノ配賦ニ於テ次ニ指示スル陣地ニ在テ集合隊制ヲ取り進軍ノ令ヲ待ツヘシ

其二 連合旅團ハ明朝九時三十分「マールロウ」(マ)ヲ發シテ「リヒンラード」(チ)「グラソウ」(ノ)道ニ至リ「グラソウ」(ノ)狹路ヲ擁塞スヘシ

其三 近衛歩兵第一師團ハ明日午前第九時三十分運動ヲ始メ其一旅團ハ「ゼルヒヨウ」(井)ノ西南ナル「ワ井ンベルヒ」(サ)「グロース」(チ)「テ」(ル)「ウハ井ンベルヒ」(ヌ)ニ向テ行進ト混淆スルヲ勿レ

シ他ノ一旅團ハ軍團砲兵ト共ニ「クライチ」(チ)「テン」(ツ)ヲ經テ「ゼルヒヨウ」(井)ニ向フヘシ

騎兵師團ハ「ゼルヒヨウ」(井)ノ東方ニ於テ第五師團ノ前哨ノ右翼ニ

第五歩兵師團ハ「ゼルヒヨウ」(井)「ブル」(ゼ)「ンドルフ」(ク)路上「ヒュンベルヒ」(伊)岡ノ南方ナル斜面ニ

第六歩兵師團ハ「グロース」(キ)「ニツ」(キ)「ゼルヒヨウ」(井)路上ニ於テ「グロース」(キ)「ニツルベルヒ」(ユ)岡ノ斜面森林ノ南縁ニ

軍團砲兵ハ第五師團ノ後方ニ

其四 近衛歩兵第二師團ハ明日午
 前第九時三十分「シヨーンフェルド」
 (ケ)ノ北方ニ至リ「ヂーパンセー」(テ)
 ヨリ「ロチス」(オ)ニ行進ス而該師團
 ヨリ本日限り銃手一大隊ヲ分遣
 シ軍團砲兵ノ護衛兵ト爲スヘシ
 予ハ近衛歩兵第一師團ノ左翼ニ
 行進スル縦隊ノ先頭ニ在ルヘシ
 「フレデリッキ、フランツ」

其三 「グラゾウ」(ノ)「ゼルヒョウ」
 (井)狹路ノ出口ハ「ルク」(フ)河ノ南
 岸ヨリ直接ニ防禦シ得ル如キ
 方法ヲ設ク可キナリ
 其四 若前衛ノ諸兵退軍セサ
 ル可ラサルニ至レハ該退軍運
 動ハ第五師團ノ爲ニハ「ゼルヒ
 ヨウ」(井)「アルー」センドルフ(ク)道
 ナ用井第六師團ノ爲ニハ「グラ
 ヴウ」(ノ)「ダールウ」(ツ)「ヤ」ノ大道
 ナ用スヘシ
 其五 第六師團ハ工兵一中隊

騎兵ヲ搜索兵ト撰ニ「グラウ
 チ」(フ)「エル」(ウ)ノ方向ニ於テ破
 壞シタル橋梁ノ近傍ニ派遣シ
 以テ敵ノ通路ヲ修覆スルコト
 ル時之ヲ妨障セシムヘシ又同
 師團ヨリ別ニ工兵一中隊ヲ分
 遣シ「グロース」(マ)「ヒ」(ウ)「ナ」ノ停
 車場ヲ占守セシムヘシ
 予ハ第五歩兵師團ノ先頭ニ在
 リ諸報告皆此地ニ致スヘシ
 軍團長「ホン、シユウルツホフ」

前ニ掲クル命令ニ見ル如ク近衛軍團ハ迂回ノ運動ヲ施行セントス該

運動ハ旋轉軸心ニ準シ大ニ翼ヲ延伸シテ行ハサルヲ得サルモノナリ
 連合旅團ノ前衛尖兵ハ午前九時四十分「マ」ロウ「マ」ノ西方ニ於テ「グラ
 ソウ」ノ「リヒテンラード」チノ大道ニ至リ第六師團ノ前哨ヨリ發射シタ
 ル猛烈ノ射撃ヲ受ク該前哨ハ「フランケンフェルド」ヨリ「ヂーパンセ
 ー」テノ彼方ニ至ル廣大ノ設堡線ヲ占領シ殊ニ「グラソウ」ノ「ゼルヒョウ」
 「井狹路」ノ前方ニ於テハ聚多ノ掩堡ヲ設ケ堅固ニ設築シタル陣地ナリ
 連合旅團ノ砲兵及近衛第二旅團ノ前衛砲兵ハ敵ノ前衛砲兵「グラソウ」
 「ノ」北方ナル道路ノ交點ニ急造胸牆ヲ築テ備フルモノヲ射撃シ以テ
 之ヲ壓到センヲ勉ム
 第三軍團ノ諸兵ハ來リテ前衛ヲ救援セス是レ前衛ハ其陣地ヲ死守シ
 若シ敵ノ勢力ヲ支障シ能ハサルニ至レハ其本陣地ニ退却ス可キ旨ヲ
 命セラレタルヲ以テナリ故ニ第三軍團ハ極メテ其兵ヲ集團シ其第十

二旅團ハ一聯隊ヲ「ル」フ「河」ノ後方「グラソウ」及「ゼルヒョウ」ノ中間
 ニ備ヘ該聯隊ハ第六第二十四聯隊ハ第二線ニ置キ「ウ」井ンベルヒ「ヌ」
 ニ駐止ス第十一旅團ハ尙ホ後方ニ於テ「グロースキーニツルベルヒ」ニ
 ノ林縁ニ在リ第六師團ノ師團砲兵三中队前衛ニ在リハ該森林ノ西方
 凸角ニ在リ

第五師團ハ其全部「ヒ」子ンベルヒ「伊」ノ斜面上ニ在リ

此時ニ至ルマテ只第三軍團ノ左翼ノミ敵ニ接ス此斷絶困難ナル地形
 ニ於テハ近衛ノ右翼前進スルヲ難シ然レモ漸ク陣地ヲ占取ス

午前十一時頃「ヒ」子ンベルヒ「伊」ノ高點ヨリ敵ノ迂回運動ヲ觀察シ得
 シテ以テ此地ニ備ヘタル第五師團ノ砲兵四中队ニハ軍團砲兵三中
 隊ヲ増加シ次ニ又三中隊ヲ此點ニ配布シ十中队ヲ以テ「ゼルヒョウ」井
 「ウ」井ンベルヒ「ヌ」ノ間ヨリ近衛第一師團ヲ砲撃ス該近衛師團ハ頻ニ

「ゼルヒヨウ」(井)ニ迫リ第六師團ノ前衛ヲシテ狹路ノ後方ニ逐退セリ、
 近衛騎兵師團ハ第三軍團ノ騎兵ヲ支障シテ近衛ノ運動ヲ偵察シ能ハ
 ザラシメ更ニ前進シテ其歩兵ノ進軍翼ニ先行シ「ザーパンセーテ」(ヲ)過
 キテ其搜索兵「ゼルヒヨウ」(井)運河「ゼルヒヨウ」ノ岸邊ニ在リ其三中
 隊ハ「ザーパンセーテ」(ヲ)「ロチス」(オ)ノ大道ニ架スル橋ヨリ該河ヲ渡ル此時
 「ゼルヒヨウ」(井)ノ東方ニ集團スル第三軍團ノ騎兵師團ハ此孤立セル敵
 ノ騎中隊ヲ捕獲セント欲シ急ニ東方ニ進ミ其第一旅團ハ敵ノ該部ヲ
 衝突シ之ヲ錯乱シテ運河ニマテ逐驅セリ然レモ既ニ近衛第二師團前
 衛先頭ノ二中隊來テ運河ニ架スル橋梁ノ近傍ニ至ルマテ道路ニ沿フ
 テ蔓延スル小林「ホーレン」(ヲ)ニテ占領シ其射撃ノ爲ニ第三軍團ノ騎兵師
 團ハ西方ニ退戰スルニ於テ近衛騎兵師團ハ巧者此事變ヲ利用シ神速
 ニ東方ニ行進シ「ザーパンセーテ」(ヲ)「ロチス」(オ)ノ道上ニ於テ守備セ

近衛運河橋梁ヲ通過シ西方ニ面シテ展開シ第三軍團ノ騎兵師團ヲ
 攻撃ス該軍團ノ騎兵ハ其員數寡少ナルヲ以テ之ニ勝ツ能ハス退テ
 「ロチス」(オ)ノ後方ニ掩匿ス第九旅團ノ一聯隊ハ此時既ニ「ロチス」(オ)ニ來
 リ之ヲ占領シアルヲ以テ其救援ニ由リ騎兵「ロチス」(オ)「ザーパンセー
 シ」(ミ)ノ間ニ在ル沼地ノ南方ニ至テ其隊ヲ整頓ス
 近衛軍團砲兵ハ銃手大隊ヲ護衛トシテ「ゼルヒヨウ」(井)ノ東南ニ占位シ
 「ロチス」(オ)ノ後方ニ掩匿ス第九旅團ノ一聯隊ハ此時既ニ「ロチス」(オ)ニ來
 リ之ヲ占領シアルヲ以テ其救援ニ由リ騎兵「ロチス」(オ)「ザーパンセー
 シ」(ミ)ノ間ニ在ル沼地ノ南方ニ至テ其隊ヲ整頓ス
 近衛第二師團ハ其騎兵地形ヲ搜索シ敵ヲ掃除シタルニ由リ危難ナク
 「ゼルヒヨウ」(井)運河ヲ「ホーレン」(ヲ)ニテ「ゼルヒヨウ」(井)ノ東南ニ占位シ
 得「ロチス」(オ)ニ向テ展開ス
 第五師團ハ其全力ヲ盡シテ此點ヲ防禦セント欲ス然レモ其左翼ヲ「ヒ
 ヌー」(ヲ)「ロチス」(オ)ニ托シテ抗拒セサル可ラサルノ位地ニ在ルヲ以テ

充分ニ其右翼ヲ警備スルヲ能ハス近衛第二師團ハ其左翼ヲ擴張シテ
 第五師團ノ右翼ヲ包撓セリ「ロチス」(オ)ハ正面及ヒ側面ヨリ激烈ニ攻撃
 セラレ遂ニ略取セラレタリ此時第五師團ノ砲兵一中隊ハ退軍スルノ
 猶豫ヲ得ス敵ノ爲ニ擒セラレ
 然ルニ第五師團ノ師團砲兵及軍團砲兵ノ全部「ロチス」(オ)沼渚ノ南方ニ
 占位シ村落ノ出口ヲ防射スルヲ以テ此援護ニ由リ第五師團ハ混雜セ
 ス徐ニ南方ニ退却スルヲ得タリ
 「ロチス」(オ)周圍ヲ戰鬪關ナルノ際近衛騎兵師團ハ該地ノ近傍ニ在ル小
 河ノ狹路ヲ通過セシメテ計此處ニ雖モ第三軍團ノ騎兵師團ハ之ヲ警戒
 シテ回其縱隊先頭ヲ追却ス是處於テ將官「ス」(ミ)及橋梁ヲ略取セシメ
 氏ハ槍騎兵旅團「シ」(オ)及「シ」(オ)ノ橋梁ヲ略取セシメ「シ」(オ)長
 該旅團ハ駭駭ヲ以テ此點前向ニ趨シ其運動ヲ第三軍團ノ騎兵師團

見セラレ此地ニ到達セシ其前面ニ將官「ス」(ミ)第三軍團ノ騎兵師團長
 ヨリ派遣シタル龍騎兵一旅團アリテ之ヲ抗撃セテ以テ槍騎兵二聯隊
 ハ逐次ニ下馬シ内四中隊ノ龍騎兵ノ二聯隊モ亦下馬シテ内三中隊ノ散兵
 線ト爲リ散兵發火ト齊發トナシテ小河ノ兩岸ヨリ相射撃スルヲ二十
 分時ニシテ槍騎兵ハ徒歩ニテ刀ヲ拔テ駭進シ小河ノ通路ヲ略取シ此
 路ヨリ直ニ乘馬シアリシ騎兵中隊ヲ前進セシメ徒歩戰ヲ爲セシ中隊
 モ瞬間ニ乘馬シ之レニ從フ
 「ラリシユ」ノ師團此點ニ注意シ警戒スルノ際近衛騎兵ノ他ノ二旅團ハ
 轉シテ「キ」(ケ)「ブ」(シ)「ユ」(ミ)ノ東方ヲ迂回シ「キ」(ケ)「ブ」(シ)「ユ」(ミ)ト「カ」(ル)「ス」(ホ)
 「フ」(シ)ノ間ニ出ツ
 第三軍團ノ騎兵師團ハ退テ第六歩兵師團ノ掩護ニ託スルヲ要スルニ
 至ル此騎兵師團ハ「ロチス」(オ)ヨリ「グ」(ロ)「ス」(キ)「ニ」(ツ)「キ」(キ)ニ退軍シ第五師

團ハ「ブルールゼンドルフ」(ク)ニ退却ス
是ニ於テ運動ハ午後第一時ニ終ル演習ノ審判ハ「グロースキーニツル
ベルヒ」(ユ)ニ於テス

近衛軍團ハ昨日ノ如ク其略取セル陣地ニ駐止シ第三軍團ハ敵ノ接近
ヲ避テ其棄去リタル戦地ノ稍後方ニ占位ス

九月十七日夕ニ於ケル兩軍ノ位地ハ第三軍團ノ命令ト近衛軍團ノ
位地報告ヨリ出ツルモノナランニ由テ指示スヘシ

北軍

九月十七日夕
連合旅團ハ「グラゾウ」ノ北方ニ在

南軍

軍團ノ命令
第一軍團ハ其現在セル陣地ニ

於テ前哨ヲ離布シ其陣地
左ニ細説

近衛歩兵第一師團ハ軍團砲兵ト共
ニ「ゼルヒョウ」(井)ノ近傍ニ在リ

近衛歩兵第二師團ハ「ロチス」(オ)ノ近
傍ニ在リ

近衛騎兵師團ハ「ウルトルスドルフ」
(エ)ノ近傍ニ在リ前哨ハ「グラゾウ」(フ)

ノ南方陣地ヨリ起リ「グロースキー
ニツ」(キ)ノ高地ヲ通シテ東方ニ至ル
線ヲ占守ス

第五歩兵師團ハ右翼ニ在リテ
「カルスホフ」(シ)ノ方ニ警戒シ其
正面ハ041号高地ニ至ルマテ掩
護スヘシ此高地ハ「クライ子」(キ
ノ西方ニテ道路
ノ近傍ニ在リ
第六歩兵師團ハ其正面ヲ140高
地ヨリ連綿ラングスドルフ(モ)
ノ湖水ニ至ルマテ占守スヘシ
第二 各師團ハ歩兵一聯隊騎兵
一聯隊砲兵一中隊ヲ以テ前哨

ヲ編成シ其他ノ諸兵ハ次ノ諸
 點ニ露營スヘシ
 第五歩兵師團ハ「ブル―ゼンド
 ルフ」ノ南方ニ於テ騎兵師團
 ハ其後方ニ於テ
 第六歩兵師團ハ「クライチキ―
 ニツ」ノ南方ニ於テ軍團砲兵
 及輜重兵大隊ハ其後方ニ
 九月十七日午後第一時四十五分
 「フル―ゼンド」近傍ノ高地ニ於テ
 軍團長 ホン、シニハルツホフ
 九月十八日ノ演習ニ於テモ一般方略ハ同一ニテ前日以來戰爭ノ

作ヲ續キ行フナリ然レモ本日ハ第三軍團ノ攻勢ヲ戰闘ニ爲シカ
 メンカ爲メ新ニ特別方略ヲ布達シ以テ第三軍團ニ兵員多衆ノ利益ヲ
 與ヘ

特別方略

北軍

北軍ハ「スパンダウ」(伯林ノ北方)防禦ノ爲
 ニ歩兵四大隊半砲兵一中隊ヲ以テ
 編成セル分遣隊ヲ派送スルヲ要ス
 而敵兵ヲ勉メテ伯林ヨリ遠距離ニ
 防止スルヲ益々要用ナリ

南軍

歩兵四大隊半砲兵一中隊ヲ以テ
 スル援軍來テ十八日ノ午前第三
 軍團長ノ指揮ニ屬ス此援軍ノ來
 着セシヲ以テ敵ヲ逐撃シテ伯林
 ニマテ退カシム可キナリ

此特別方略ニ由テ連合旅團ノ歩兵砲兵ハ近衛軍團ヲ去テ第三軍團ニ

入レリ但其騎兵一輕裝騎兵ハ其所屬聯隊ニ歸入セリ
如斯キ新形勢ニ於テ其任務ニ應シ戰爭ノ利便ヲ失ハサル爲メ兩軍ノ
軍團長ハ九月十七日ノ夕次ノ如ク命令ヲ布達セリ
九月十八日ノ爲ニスル配置

北軍

近衛軍團

司令本部

第一課第五号

敵ノ前哨ハ「ダールウヰツ」(セ)「グロ
ス、キーニツ」(キ)ヨリ東方ニ延五スル
線ヲ占領シ且歩兵砲兵ノ援軍「ツヨ
セン」(タ)ノ方向ヨリ來リテ敵ノ本軍
ニ合流スル

南軍

敵ハ其前哨ヲ「グラソウ」(ノ)及「グロ
ースキーニツ」(キ)ノ高地ヲ以テ畫
セル線上ニ配布セリ我軍ニハ連
合旅團援兵トシテ來到スルヲ以
テ予ハ敵ヲ攻撃シテ伯林ニ追退
ケル上欲シクハ其後方ニ侵入スル
故ニ當軍團ニ所定ノ兵隊配置ス

當軍團ハ敵ノ攻勢運動ヲ抵抗スル
爲メ「マリヤンフェルド」(ニ)「ブリッ」
(ヘ)ノ線ヲ占守スルニキナリ
此故ニ予ハ次ノ如ク命令ス
第一 近衛歩兵第二師團ハ明朝九
時三十分發途シテ「ウハスマン」(ド
ルフ)「ア」ノ西方ヲ通過シ「リヒテン
ラード」(チ)ヨリ「マリヤンフェルド」
(ニ)ノ方向ニ行進スヘシ
第二 近衛歩兵第一師團ハ其前哨
ヲ守地ニ殘シ午前第九時三十分
ヨリ其一旅團ヲ以テ「グラソウ」(ノ)

準ヒ明十八日午前第九時三十分
前進シ準備ヲ整ヘ集隊制ニ於
テ次ノ陣地ニ整列スヘシ
第一 騎兵師團ハ直ニ右翼ノ前
哨陣地ノ後方「ロチス」(オ)ノ近傍
ニ
第五歩兵師團ハ「ブルー」(セ)「ド
ルフ」(ク)「ゼ」(ヒ)「ウ」(井)道ノ近傍
ニ於テ其前哨ノ後方ニ
第六歩兵師團ハ其前哨ノ直後
ニテ「クライ」(子)「キー」(ニ)「ツ」(ヒ)「グロ
ー」(ス)「キ」(ー)「ニ」(ツ)「キ」(ノ)路上ニ

狹路ヲ占領シ他ノ一旅團ヲシテ
 「ウハ井ンベルヒ」(ヌ)ヨリ「ゼルヒヨウ」
 (井)ニ至ル陣地ヲ據守セシムヘシ
 近衛工兵大隊ハ「ブリツ」(ヘ)ヨリ「リ
 ヒテンラード」(チ)マリヤントルフ
 (ト)道ノ西方ナル陣地ヲ150ノ高地
 ニ至ルマテ防禦法ヲ施スヘシ
 第三 近衛騎兵師團ハ明朝第九
 時三十分「ロチス」(オ)ヨリ始メテ敵
 ノ右翼ノ方向ヲ搜索シ且軍團ノ
 行進ヲ掩匿スヘシ
 第四 軍團砲兵ハ明朝第九時三十

連合旅團ハ其前哨ノ後方「ダ
 ルウキツ」(ヤ)ノ南方ニ
 軍團砲兵ハ第五步兵師團ノ後
 方ニ
 輜重隊ハ新命令ノ來ル迄其露
 營ニ駐在スヘシ
 第二 拂曉前哨ハ敵兵昨日ノ陣
 地ニ在ルヤ否ヲ探候報告スル
 ヲ要ス
 予ハ第六步兵師團ノ先頭ニ在
 リ報告ヲ總テ此地ニ致ス可ヘ
 シ

分「クライ子、チーレン」(ツ)濟南方ニ
 占位スヘシ
 報告ヲ携來ル者ハ午前第九時三十
 分後ハ「クライ子、チーレン」(ツ)ノ高地
 ニ來ル可シ
 九月十七日午後第五時「リヒテン
 ラード」(チ)ノ本營ニ於テ

「フレデリックフランチ」

上ニ記載スル命令ヲ檢スレハ近衛軍團長ハ其對向スル敵ノ人員衆多
 ナルヲ以テ正面攻撃ヲ防拒スルノ策略ヲ廢棄シ後左方ニ正面ヲ變換
 シ敵ノ側方ニ陣地ヲ占メ以テ其伯林ニ向テ前進スルヲ妨遮セント欲
 スルカ如シ

九月十七日午後第三時四十
 五分「クライ子、キーニツ」(ヒ)ノ
 本營ニ於テ
 團軍長「ホン、シュウルツ」ホフ

其命令上ニ載スルカ如クハ該運動ハ之ヲ施行スルノ最困難危殆ナリ如何トナレハ第二師團ハ第一師團ノ後方ヲ横過スヘキヲ以テ第一師團ノ退軍線ト其行進線ヲ交叉セサル可ラス此時ニ當リ敵若シ其全力ヲ舉テ第一師團ヲ襲撃シ之ヲ第二師團ノ縦隊上ニ追却壓迫シ該師團ノ側面ヲ衝突スルコアラハ之ヲシテ名状ス可ラサルノ雜沓ニ至ラシメサルモ其運動ヲ妨害シテ策略ヲ實行スル能ハサラシムルコアル可ケレハナリ

素ヨリ第一師團ハ力メテ其防禦ノ時間ヲ延暢シテ「グラゾウ」ノ「ゼルヒ」ヨウ「井」ノ線ヲ保守スヘキノ命令ヲ受ケタリ故ニ第二旅團ハ「グラゾウ」ノ「村」ニ堅固ナル防禦法ヲ施シ一聯隊ハ該村ノ外縁ヲ防禦シ其右翼ヲ「ルク」フ「小河」ニ托シ他ノ一聯隊ハ村落ノ防禦ニ任ス第一旅團ハ「グロース」キーニツルベルヒ「エ」ノ前進線ヲ據守シ其後方ニハ「ウ」ハ「井」ンベルヒ「ヌ」

ノ陣地ヲ掩フ師團砲兵ニ中隊「バ」グ「ラ」ゾウ「ノ」ノ前方ニ備ヘ他ニ中隊ハ「ウ」ハ「井」ンベルヒ「ヌ」ニ備ヘタリ

近衛第二師團ハ軍團砲兵ヲ先頭トシ「ク」ライ「子」チ「ー」テン「ツ」ヨリ「リ」ヒ「テ」ン「ラ」ード「チ」ニ退軍シ又騎兵師團ハ「ウ」ハ「ル」トル「ス」ドル「フ」(「エ」)ノ方向ニ駐止シテ第三軍團ノ騎兵ヲ「ゼ」ルヒ「ヨウ」(「井」)溝ニ抑止スルノ準備ヲ爲ス

午前第九時三十分第三軍團ハ其全部ヲ展開シテ前進運動ヲ始ム

左翼ニハ連合旅團「ダ」ールウ「キ」ツ「ヤ」ヨリ「グ」ラ「ゾウ」(「ノ」)ニ進ムニ此兩村落ニ通スル道路ノ西方ヨリシ深重ナル隊制ヲ採リ其四大隊ヲ前後ニ重疊シ只其第一線大隊ノミ定規戰闘順次ニ展開シ其他ノ三大隊ハ中隊縦隊ノ横列ニ備フ又其砲兵ハ「ダ」ールウ「キ」ツ「ヤ」ノ西北ニ占陣シ「グ」ラ「ゾウ」(「ノ」)ヲ砲射ス

第六師團ハ「グ」ロース「キ」ーニツ「キ」ノ南方ニ集團シ午前第九時三十分第十

二旅團ハ「グロース、キーニツ」キ「ゼルヒョウ」井「道路ニ並行シテ前進スルニ土地ノ形狀適宜ニシテ敵此運動ヲ洞見スル能ハス故ニ密集隊制ヲ採リ二聯隊ヲ二線ニ配布シ各聯隊ハ縱隊横列ノ隊制ヲ取り其中央間隔ヲ密縮ス第十一旅團ハ其右翼ニ師團騎兵ヲ備ヘ「グロース、キーニツルベルヒ」エニ進行シテ敵ノ前進線ヲ驅逐ス師團砲兵ハ直ニ此點ニ占位シテ砲列ヲ配布シ以テ「ウハ、井ンベルヒ」又「ノ攻襲ヲ準備ス

此時ニ當リ第十一旅團其隊ヲ展開シテ此攻襲ニ任セントス然ルニ「グラソウ」ノ防禦兵^{第二旅團}ハ其前面ヨリ連合旅團ノ爲ニ脅迫セラレ且同時ニ第六師團ノ全部其翼ヲ包攬セシメサルノ勢ニ至ルヲ以テ該村落ヲ棄テ徐ニ森林ヲ經過シテ退軍セ第一旅團ハ「ウハ、井ンベルヒ」又ヨリ「ゼルヒョウ」井「森林ノ方向ニ退軍スルニ歩々敵ヲ抗拒ス

連合旅團ハ「マーロウ」マヲ占領シ第十二旅團ハ退軍スル敵ヲ追躡シテ

「ウハ、井ンベルヒ」又ヲ超過ス而第十一旅團ハ「ルク」フノ沼澤小河ニ其行進ヲ遮止セラル此小河ニハ近傍ニ橋梁一個ノモニシテ之ヲ通過センニハ森林ヨリ發射スル火力ヲ以テ防射セラレ此企謀ヲ實施スルヲ能ハス故ニ第十二旅團前進シテ「ゼルヒョウ」井「森林ノ林縁ニ在ル敵兵ヲ掃除驅逐スルノ時ニ至ルマテ他ノ旅團^{第十一旅團}ハ停止シアルヲ要セリ

第十一旅團ハ狹路ヲ超過スル爲メ第十二旅團ノ後方ニ至リ次キニ其右翼ニ展開シテ敵ヲ西方ニ驅逐ス可キノ命ヲ受ケタリ

近衛第一師團長ハ此運動ノ景况近衛軍團全部ノ運動ヲ妨碍スヘキヲ察シ直ニ命令シテ激烈ナル逆襲ヲ行ハシム是ニ於テ第十二旅團ノ二線ハ其後方ニ縱隊行進ヲ爲ス所ノ第十一旅團ノ二線上ニ壓迫セラレ一時大混乱ヲ生シ審判官ノ中裁ヲ以テ漸ク戦闘ノ景况ヲ整正スルヲ得タリ

近衛第一師團ハ靜穩ニ「マロウ」(マ)「クライチ」(チ)ト子ルベルヒ(エ)ノ線ニ至ル此時第十一時三十分ナリ此地部ノ戰爭ハ障蔽ヨリ障蔽ニ轉シ射撃ヲ以テ防禦スルノミ

東方ニハ近衛第二師團其命令ニ指示スル如ク「マリヤンフェルド」(ニ)ヲ目標トシテ「クライチ」(チ)「テン」(ソ)道ニ行進ヲ始ム然ルニ第三軍團ノ第五師團ハ其背后ヲ追躡シテ迅速ニ行進シ「ゼルヒョウ」(井)村落ヲ通過シ其前衛聯隊ハ急ニ「ウハスマンズドルフ」(ア)ノ縁端ニ至リ其全部ヲ展開ス該兵ノ射撃ト之レニ附屬スル砲兵ノ發射トニ由テ近衛軍團ハ其退停軍運動ヲ止スルヲ要スルニ至リ斷然其謀策ヲ決シテ第三軍團ニ向ヒ展開シ戰爭ヲ始ム

斯ノ如ク近衛兵ヲ妨得レ且之ニ到達センカ爲メ第五師團ノ前衛砲兵ハ歩兵搜索兵ノ線ヨリ前方ニ進ミ只師團騎兵聯隊 第二龍騎兵聯隊ノ援護

ノミナ頼ミ突進シタリ第二槍騎兵聯隊 近衛第二師團ノ其本軍ノ退却運動ヲ掩護シアリシカ該砲兵ノ不覺ノ陣地ニ在リ見ルヤ直ニ之ヲ襲撃シテ砲兵ト騎兵中隊トヲ同時ニ包圍ス故ニ砲兵ハ僅ニ一回ノ放射ヲ爲シ得タルノミ此景況ヲ見ルヤ第二龍騎兵聯隊ノ殘余中隊來リ之ヲ扶援シ敵ノ騎兵ヲ驅除ス

此間近衛騎兵師團ハ其最左翼ニ在リテ徐ニ退軍シアリシカ「シヨンフェルド」(ケ)ノ方向ヨリ其第二線ノ一聯隊 近衛龍騎兵 ヲ送遣シテ槍騎兵ヲ救援セシム第三軍團ノ騎兵師團是ニ於テ其龍騎兵 第五師團ノ扶援セントス故ニ近衛騎兵師團モ來テ應援シ兩軍ノ騎兵相互ニ襲撃シテ騎兵ノ大戰爭ト爲レリ近衛騎兵三十五中隊第三軍團ノ騎兵二十六中隊トノ大混淆ニシテ審判官來テ之ヲ判定シ戰況ヲ復セリ

此際第二近衛師團ハ其全部ヲ展開スルノ猶豫ヲ得テ「グロース、チーテン」

(レ)東方ナル「クライチ、チーテン」(ツ)高地ヲ占領シ其右翼ハ第一師團ノ占守スル「クライチ、チーテン」(エ)ニ托ス第一師團ノ砲兵全部及ヒ軍團砲兵ハ「ガルゲンベルヒ」(セ)ニ占位シ尙ホ北方ニ於テ「グロース、チーテン」(レ)ノ方向ニハ騎砲兵中隊ヲ配布シテ敵ノ攻進線ヲ斜射ス

第五師團ハ其前衛ヲ以テ堅固ニ占守シタル「ウハスマンズドルフ」(ア)ヲ軸心ト爲シ其正面ヲ旋回シ近衛兵ニ面シテ展開ス其師團砲兵軍團砲兵聯砲兵ハ「ウハスマンズドルフ」(ア)「シュールフェルト」(ケ)道ノ西方ナル163高地ニ砲兵十三中隊ヲ一線ニ備フ

正午第三軍團ハ其全線ヲ前進セシメ第六師團ハ「クライチ、チーテン」(ツ)ニ進ミ同時ニ第五師團ハ「クライチ、チーテン」(エ)ニ向ヒ連合旅團ハ敵ノ右翼ヲ包撓スル爲メ森林ト鉄道線トノ中間ニ顯出セリ

第三軍團ノ騎兵師團ハ同時ニ敵ノ右翼ヲ包撓センコトヲ計リ其砲兵ハ

「グロース、チーテン」(レ)ニ向フ近衛騎兵ハ該運動ヲ注視シ之ヲ妨障セントスルヲ以テ更ニ騎兵ノ大襲撃アリ此間第三軍團ノ右翼ハ襲撃ヲ以テ陸續前進ス

是ニ於テ諸運動ヲ停止ス演習審判ハ此日「ボルケンベルヒ」(コ)ニ於テス

該大演習施行ノ順序ハ實ニ單一ニシテ兩軍團ハ始終相接近シ毎日採用スル所ノ配置法ハ歩兵ノ一師團ハ常ニ歩兵一師團ト對向シ騎兵師團ハ均シク騎兵師團ト相對向セリ而此諸兵隊ハ常ニ其全部ヲ展開シ殆同一ノ兵數ノミヲ用ヒ唯臨時編成旅團ノ編入アルヲ以テ其兵數ノ平均ヲ變シ以テ某軍團ヲシテ攻勢ヲ採ルノ利ヲ得セシメ該軍團ノ捷利ト爲ルノ結果ヲ組成ス獨逸國ニ於テハ實施上ニ在テモ學術上ニ在テモ將校兵卒ヲシテ攻勢ヲ採ルモノハ必勝利ヲ得ルト云フノ主義ヲ

腦中ニ理得セシメント欲スルカ如シ
 軍團ノ對抗演習ナルモノハ師團對抗演習ヲ聯結スルモノ、如シ故ニ
 今年埃地利國ニ於テ「ガリシ」州ノ大演習ニアルベルト「天侯」指揮セ
 ルモノトハ大ニ異レリ
 埃國ニ於テハ演習中戰術及ヒ兵略ノ兩目的ヲ實施セリ獨逸國ニ於テ
 ハ兵略上ノ方略ハ管ニ戰術動作ノ爲ニ假定シタル組織ノミニニシテ獨
 國ノ大演習ニ於テハ斯ノ如キ性質ヲ見ルハ常ナリ(注)一般方略及特別
 上ノ動作ニ關スル目的ハ大抵預シメ定メアリテ戰争ノ指揮ノミヲ爲スノミナレハナリ
 然レモ其位階ノ等級ヲ以テ見ルニ其下級ニ在ルニ從ヒ其動作舉止實
 地ニ於ケルモノト差違少シ何トナレハ其運動ノ結局ハ預定シアルモ
 其與ヘラズ、命令ニ由リ中隊長大隊長聯隊長若クハ旅團長ノ處置ハ
 實地ニ於ケルカ如ク樞要ノ特見ヲ以テ其部下ヲ進退ス可キヲ以テナ

リ
 其全部ヲ一見スルニ運動ノ施行ハ大抵想像シ得ヘキモノニシテ普漏
 生陸軍操典ヲ實施スルニ過キサルナリ然レモ些少ノ改革變化アルモ
 ノヲ次ニ記述ス
 本年ハ初メテ密集隊制ヲ廢棄セルカ如シ砲火ノ達シ得ヘキ範圍ニ於
 テハ決シテ中央縱隊ノ如キ隊制ヲ採ルコトナク旅團ハ前年ニ見ル如ク
 平常聯隊ヲ二線ニ編成シ之ヲ前後ニ重疊セリ而テ該二線相距ルノ距
 離及ヒ第一線諸梯陣ノ距離ハ去年ニ比スレハ之ヲ増加シ一聯隊ノ第
 一線ニアルモノハ其深サ大抵六百乃至七百米突ニシテ旅團ノ全深ハ
 千米突ヲ以テ通常トス
 旅團ハ敵ヲ距ルコト遠大ノ距離ニ於テ戰争隊制ヲ取レリ此距離ハ二千
 米突ヨリ二千五百乃至三千米突ニシテ第一榴彈ヲ受クル特ヨリト云

フニ非ラス敵ノ砲彈達シ得ヘキ地ヨリ其隊ヲ區分セリ
 通常第一線聯隊ハ其二大隊ヲ並列シテ戰線ト爲シ第三大隊ヲ以テ聯
 隊豫備ト爲セリ又或ハ其三大隊ヲ同線上ニ備ヘ第二線聯隊トノ間ニ
 豫備兵ヲ設置セサルヲ屢之有リ又特別ノ時機ニ於テ其戰線ノ翼ニ在
 ル者ハ只一大隊ヲ以テ戰線ニ充テ二大隊ハ豫備兵ト爲スヲアリシ然
 ル時ハ此二隊ヲ並列シ或ハ之ヲ前後ニ重疊ス
 第二線ニ在ル聯隊ハ大抵其大隊ヲ梯形ニ備ヘ其各大隊及預備大隊一
 線聯隊中ノ預ハ縱隊中隊ノ橫列ニシテ展開間隔ヲ取ラシメ或ハ屢各
 中隊縱隊ヲ二線ニ備ヘ基陣ヲ爲サシム又大距離ニ於テ該諸中隊敵ノ
 射撃ノ目的トナル時ハ橫隊ニ展開シ續テ小距離ニ至レハ大抵五百米
 突ノ地ヨリ以內ハ再ヒ縱隊中隊ヲ編成ス
 戰線ニ在ル大隊ハ或ハ定規戰團隊制ヲ採リ其二中隊ヲ以テ前線ニ配

布ス該中隊ハ其一小隊或ハ二小隊ヲ散兵線ト爲シ殘リ一或ハ三小隊
 ヲ以テ援隊ヲ編成ス他ノ二中隊ハ或並列シ或ハ梯陣ト爲リテ大隊ノ
 預備隊ト爲ル又時トシテ戰線ニ在ル大隊ハ展開間隔ヲ存セル縱隊中
 隊ノ橫列ヲ採ルコアリ然ルモ各中隊ヨリ一小隊ヲ散兵線ト爲シ他
 ハ援隊トナルヲ以テ最初ヨリ密稠強堅ノ隊制ト爲ル此隊制ハ將官口
 |ニ氏ノ指揮スル師團第五步中ニ於テ屢見ル所ノモノニシテ近年普
 國陸軍部内ニ最モ懸念スル下單位小部隊ヲ云フ混合スルヲ避ク
 可シト云フノ主旨ニ適スル所ナリ小單位ヲ戰線中ニ混合スルノ弊害
 シ能ハサルヲ屢陸軍兵事新聞中ニモ記載スル所ナリ本年二月十二
 日發見ノ兵事週報新誌中ニ普佛戰爭ノ時ニ當リ二軍團ノ散兵線中ニ
 在ル諸兵混合シテ兩軍團ノ境界ヲ分然レモ此隊制ハ大隊ノ預備隊ヲ
 盡スル能ハサルヲアリシト記セリ
 存セス非常ニ散兵線ノ勢力ノミチ増加スル弊害アリテ侵撃ノ時ニ當
 リ諸中隊第二小隊ヲ展開スル時ハ大隊ハ臂々相接スル二列ノ第一線

ト寡弱ナル援隊四個ヲ備フルノミトス
 大隊ノ隊制如何ニ係ラス他中隊ニ屬スル小隊ハ散兵線上ニ於テ綿密
 ニ若干ノ間隔ヲ存シ次ニ來テ増加スル小隊ノ投入シ得ル如クセリ
 前ニ述フル如ク備フル梯陣ニ於ケル旅團ハ時機ニ由リ步度ヲ正フシ
 テ前進シ主トシテ動作ノ齊一ナルニ注意シ地形ヲ利用スルコトニハ注
 意充分ナラサルカ如シ素ヨリ天覽大演習ニ於テハ其外見ノ整頓スル
 ヲ勉ムルノ主旨アルモ一疑團ナレトモ又退テ之ヲ熟考スレハ此整々堂
 ヲノ運動ヲ以テ不時ニ發生スル志氣ヲ振興スルノ主旨ナルカ如シ
 歩兵ノ射撃ヲ始ムル距離ハ土地ノ種類ト其前面ニ在ル目的ノ要不要
 トニ從ヒ極メテ變異アリ然レモ通常防勢ノ時ハ遠大ノ距離ヨリ始メ
 攻勢ニ在テハ小距離ヨリ始メ
 若シ砲兵或ハ掩蔽セサル歩兵線七百八百千時トシテハ千二百米突

距離ニ顯出スル時ニ散兵線ハ停止シ該線止事ニ在テ密集セル小隊或
 ハ密列身部隊ヲ以テ其線ヲ延長シ頻ニ齊發ヲ行フ此齊發ヲ行フニ千
 米突以上ノ距離ニ於テハ三種ノ照尺ヲ採テシメテ千米突以下ニ在テハ
 二種ノ照尺ヲ指示スル
 散兵線ヲ延長セル部隊其位地ヲ占ムレバ更ニ前進運動ヲ行フ而敵ノ
 歩兵火ヲ受クルヲ激烈ニシテ運動シ能ハサルニ至テ停止シ是ニ於テ
 逐次進進ヲ初メ或ハ全大隊同時ニ驅走シ或ハ中隊隔番ニ前進セリ
 其五百米突計ノ距離ニ至ルマテハ散兵ハ立射或ハ膝射ヲ爲シ每半小
 隊齊發ヲ爲セリ此距離ヨリ近接スレハ齊發ト彈數限定ノ各自發火ト
 隔番ニ行フ此時ニ至レハ各中隊ハ大抵其小隊二個ヲ散兵線ニ備ヘ
 線上ノ兵卒ハ殆ト臂々相接スルニ至ル
 此号令發火或彈數限定發火ヲ以テ射撃ヲ規制スルノ法アルヲ以テ確

烟ノ朦幕屢消散シ士官ハ其現況ヲ觀察シ兵卒ノ進退射撃ノ方向等ヲ
 指揮スルヲ得テ若シ敵方ニ密列ノ援隊運動スルヲ見ル時或ハ其散兵
 掩匿セスシテ前進シ又ハ退却スルヲ見ル時ハ必烈シシ射撃シ其要用
 少キ時ハ之ヲ減スル等凡テ士官ノ指揮スルヲ自在ニシテ時々樞要ノ
 一點ニ集射セシムルヲ得ヘシ散兵線上ニ於テ迅速射撃ヲ行フハ極メ
 テ稀ニシテ若シ之ヲ施行スルコアルモ必士官ノ号令ニ由リ暫時ニシ
 テ止ム
 大隊定規戰團隊制ニ於ケル時ノ預備中隊又四中隊ヲ戰線上ニ並列シ
 タル時ノ最後方ノ小隊ハ散兵線逐次驅進ヲ行ヒ時々停止スル毎ニ之
 ニ近接シ而テ全線敵ヨリ二三百米突ノ距離ニ至レハ彈數限定射撃ヲ
 止メ迅速射撃ヲ以テ之レニ代メ此迅速射撃ヲ行フハ時間ハ僅々若干
 分時ニ過クズシテ打方止續ノ号番ヲ奏シ兵卒ハ銃劍ヲ銃ニ附著シ全

戰線上大鼓ト横笛ヲ以テ侵襲ヲ請テ美不此時ハ連射ハ散兵線漸次ニ
 増加セテ殆ト密列ノ如ク士官其先頭ヲ進メ數回ハ小隊ヲ叫ンテ侵
 襲ヲ行フ
 千八百八十年ノ演習ニ於テ審判官ハ散兵線ノ侵襲ヲ判定スルニ其散
 兵線ノ諸點ニ密列ノ部隊ヲ増加シテ行フモメハ其功績ヲ見サルモノ
 ト爲シ之ニ反シテ散兵線ノ人員ヲ増加シ兵卒臂ヲ相接シ殆密集隊ノ
 狀ヲ爲シ別ニ密集部隊ノ援助スルモノヲ備ヘスシテ侵襲ヲ行フ時ハ
 成功アルト判定セリ是レ注意スヘキ一件ナリ
 此一點ハ古來ノ慣習ヲ改正セシ所ニシテ他ニ斯ノ如キ變革ナシ大抵
 侵襲ハ既ニ記載セシ如ク稍遊戯ノ如シト雖モ又猛烈勇壯ノ勢アリ
 此集密隊ヲ廢棄セシテ大距離ニ於テ隊ヲ區分スルコト且第一砲彈ヲ受
 クルニ先ツテ區分スルコト等ハ輒近陸軍學科上ノ戰術ヲ實施スル所ニ

シテ又戰爭準備ト施行トノ動作ヲ區分セントスルノ論ハ廢棄セラレタルカ如シ本年柏林ノ演習ニ由テ見ルハ戰爭ノ爲ニ勢力ヲ盡スハ只第一線ニ在ルモノ而已ニシテ第二線ハ戰爭結局ノ時ニ至ルマテ第一線ノ後方ニ行進スルノミナリシ

戰爭利アルハ侵襲ヲ行ヒタル兵隊略取シタル陣地ニ於テ其隊ヲ整頓スルノ際第二線ノ兵前進シテ同一ノ線ニ到達シ其射撃ヲ以テ退去スル敵ヲ追撃ス若シ之ニ反ルニ敗ルハ時ハ或ハ側方ニ陣地ヲ占領シテ退軍スル我第一線兵ヲ掩護セシメ計リ或ハ前進シテ退軍スル線ヲ通貫シ之ニ代テ戰爭ヲ爲スアリ故ニ此部ノ兵ハ其力ヲ以テ相繼クテ進ルモ共ニ協力シテ動作スルコトナシ

九月十一日ノ演習ニ於テハ前次ニ記述スル如ク聯隊預備ヲ大隊ハ齊發ヲ以テ敵ノ逆襲ヲ時利獲得スルヲ要シ且進軍ノ此種ヲ發火點特別ノ

時機ニ於テ兩三回砲臺ニ砲ヲ施發セシメ又砲臺ヲ發射法ヲ採用セリ梯射トハ兵隊ニ兵ヲ備フル等ニ線或ハ三線假令土地ノ形狀此種ノ發火ニ適宜ナルヨリ屢々之ヲ用ヒサリシ而テ間接射撃原名「フュル」イニ「ゲ」ト顯出セハ長官ヲ命令スルコトナキモ各士官ハサレ目的ニ向テスル射撃ヲ云フカシハ高地嶺頂ノ後方ニ置カサルニ注意シ援隊或預備隊ノ地位タルハ高地嶺頂ノ後方ニ置カサルニ注意シタリ是レ敵兵間接射撃ヲ以テ數多ノ損害ヲ與ヘキヲ以テナリ

演習中射撃ノ制定ハ常ニ肉眼測量ヲ以テ其距離ヲ決定シ決シテ齊發ヲ以テ其彈着ヲ計リ測定スルコトナシ又「テレメートル」測遠器ヲ使用スルコトナク稀ニ地圖ヲ開テ肉眼測量ヲ修正スルコトアルノミ然レハ射撃ヲ号令スル時ハ必兵卒ニ其距離ヲ指定スルコトナシ

其全体ヲ見ルニ士官ハ實地演習中現ニ其形跡ヲ見ルコト能ハサル學術上ノ諸件ヲ試験スルヲ勉ムルコト少ナシ然レハ戰爭終末ノ期ニ至ルマ

テ射撃ヲ規正スルヲ以テ戦争ノ利ヲ得ルト云フヲ主旨ヲ固守スルカ
 如シ
 千八百八十年ノ演習中其最殊異ナル事ハ戰地工作ヲ屢用ヒタルニ在
 リ殆毎日ノ命令ニ軍團長ハ前哨線主要防禦線或臨時退軍線上ニ急造
 築堡ノ工作ヲ記載セリ又戦争間ニ於テ各大隊ハ歩々土地ヲ掘鑿シ村
 落或森林ノ縁端ニ築堡ス此所作タルヤ攻勢ニ在テハ略取シタル陣地
 ナ堅守センカ爲メ退軍ノ時ニ於テハ土地ニ依頼シテ固守センカ爲メ
 ニシテ攻守共ニ採用スル所ナリ各大隊ニ備フル器械ノ數ハ其數ヲ増
 シテ圓匙銃四百挺、騎銃三十挺、尋常銃四十挺トナシ演習ノ時各大隊
 ノ器械半數ヲ携齎セリ其施行セシ土工ハ大抵三十米突乃至四十米突
 掩堡ニシテ一二ノ曲折アリテ相互ニ側防ヲ爲シ得ル爲ニシ各掩堡
 列ニ列ニ備フル小隊ヲ爲シ又大砲ヲ陣地ニ設ケル土工ハ厚

サ三米突ニシテ半圓形ヲ急造、胸牆ナリ「ブルレ」ハ堆築シタル土壘
 穩カナテサ
 陸軍新聞中ニハ此新規ナル方法爲スルヲ云ハ著大ナル進歩ナリト
 賞賛セリ何トナレハ之カ爲ニ兵卒ヲ進退捷速ヲ減殺スルコトナケレハ
 ナリスノ如ク防禦ノ隊制ニアルト雖モ若シ其要用アル所ハ軍紀ノ嚴
 格ナルト攻勢ノ精神トニ由テ容易ニ兵卒ヲ掩蔽物陰ヨリ突進セシム
 ルノ意アレハナリ
 此土工ヲ屢實地ニ施行スルハ砲兵ノ爲ニモ常ニ利益アルヤ否ハ一疑
 團ナリ素ヨリ探偵占取シタル陣地ニ丁寧築設シタル胸壁ハ充分攻用
 アル掩護ト爲ルヘシト雖モ戰爭間不意ニ占取シタル陣地ニ薄弱ナル
 堆土ヲ以テ急遽ニ掩蔽ヲ築設スルハ其利益ヨリ却テ弊害大ニシテ危
 險ヲ致スコアルヘシ何トナレハ該掩蔽物若干ノ彈丸欲片ヲ防止スル

モ之カ爲メニ我位地ヲ敵兵ニ覺トラル、易ク且敵ハ新鑿シタル土
 色ニ由テ容易ク其射撃ヲ制定シ得テ其彈丸ノ命中ヲ確實ナラシムレ
 ハナリ素ヨリ砲兵ノ爲ニスル急造掩障ハ歩兵ノ掩堡ニ比スレハ其實
 際ニ用ヒレド甚少ナカリシナリ
 此特別ナル戒慎法ニ反シテ砲兵ハ絶エス其安全保護ヲ顧ミス只其毀
 廢勢力ヲ逞フスルヲ常ニシテ演習中其動作ノ果斷ナル時トシテ疎暴
 危キヲ顧ミサルニ過クルカ如キヨアリタリ其戰爭ノ初ニ於テハ若干
 騎兵ノ掩護ニ托シ縱隊ニ先行シテ戰端ヲ開キ戰爭間ハ其步兵線ノ前
 進運動ニ從テ前進シ或ハ先行シ射撃猛烈ニ威力ヲ奏スルノ距離ニ至
 至七百米突ノ距離ニ至ルヲ俟ツカ故ニ實地ニ在テハ著シキ損害ヲ蒙
 リ若干砲敵ノ爲ニ露略ニ歩隊ヲアルニハ然ラズ砲兵ノ如クテ敵

追躡ヲ防止シ得タヤ素ヨリ論ヲ俟タスレテ人ノ知ル所ナリ
 獨逸國ノ砲兵ハ線密ニ陣地ヲ先定シ丁寧ニ射撃ヲ制定スルヨリ運動
 ノ神速自在ナルト其動作ノ不意ヲ出ツルヲ要點トスルカ如ク攻勢ノ
 戰爭ニ在テハ砲兵大隊神速ノ步度ヲ以テ敵ヨリ千八百乃至二千米突
 ノ距離ニ至リ右方或左方ニ砲列ヲ作ル如キ單簡ナル全隊ノ運動ニ由
 テ陣地ヲ占領シ敵ノ距離ヲ測定スルニ器械ヲ用フルヲナク直ニ射撃
 ヲ始ム而シテ軍團砲兵ノ六中隊ハ戰爭間大抵集團シアリテ屢其近傍ニ
 ル師團砲兵來リ合シテ其勢力ヲ共ニスルヲアリスノ如ク砲兵ヲ集團
 スレハ司令官ノ撰定スル目的ニ集射スルヲ得其威力ヲ逞フシ好結果
 ナ見ルヲ得ヘシ然レモ砲兵ハ其護衛兵ノ力ニ托スルヲ多クシテ孤立
 スル能ハサルモノナリ故ニ若シ其護衛兵ヲ充分ナラシムレハ地理ヲ
 採用スルヲモ自然容易ナル可キ道理ナリ

獨逸軍ノ攻勢運動ハ常ニ包攻運動ヲ以テスルノ慣習アルニ由リ一軍團中ノ二師團ノ間隔廣濶ニ過クルヲ屢ニシテ砲兵此間隙ヲ占領スルヲ常ナリ守勢ニ在テモ其線ノ中央ニ砲兵ノ大部ヲ備フル慣習アルヲ以テ預備兵ヲ兩翼後ニ集合スルヲ得テ敵ノ迂回運動ヲ防止スルヲ得ヘキナリ然レモ此法ハ不意ノ攻撃ヲ抗拒スルヲ得ルト雖モ非常ニ軍團ノ戰面ヲ廣大ナラシムルノ弊害ヲ免レサルモノトス

毎日ノ命令ニ由テ步兵師團及軍團砲兵ノ任務動作ハ明細ニ確定シ之ニ反シテ騎兵師團ノ動作ハ大抵其指揮官ノ意見ニ任スルヲ多シ是レ實ニ注意スヘキ一點ニシテ以前ハ素ヨリ本年「チルビヒ」(伯林ノ東北)ニ於テ騎兵演習ヲ行ヒタル時ニ於テモ大ニ之ニ反對セリ此騎兵運動ハ唯殊異ナル地上ニ於テ練兵場ノ運動ヲ施行シ所定ノ順序ニ從ヒ其三旅團騎兵師團ヲ編成スル勢力ヲ連合スルモノニ過ラズナリ

皇帝天覽ノ運動ニ於テハ敵ニ近接スルニ由リ搜索勤務ヲ要スルヲナキヲ以テ騎兵師團ハ其所見ニ從ヒ其本務ニ準シテ戰場ニ於ケル動作ヲ實施シタリ

此師團ハ常ニ三線ニ於ケル戰團隊制ヲ採リテ行進シ其前進スルハ兵員若干ノ前衛及搜索兵或ハ斥候原名突兵ヲシテ其前面ニ行進セシメ此警戒兵ハ半圓形ヲ爲シ其半徑ハ大抵一吉羅米突ナリ

雙方ノ騎兵其搜索兵ノ報告ニ由テ相接スルヲ知レハ爾來全軍ト共ニ戰爭ノ景況ニ從ヒ動作スルモ暫時モ敵ノ騎兵ニ注意スルヲ怠ルコトヲ不斷其運動企謀ヲ檢察スルヲ勉ム

第三軍團ノ騎兵師團ハ二十二中隊ニシテ近衛ノ師團ハ三十中隊ナルヲ以テ人員ヲ比較スレハ寡弱ナリ故ニ其戰術タルヤ常ニ狹隘ノ後方ニ備ヘテ強大ナル敵ノ師團ヲ待チ其縱隊ノ先頭狹路ヲ通過シ正ニ分

進セントスル時ニ當リ其隊ヲ展開スルニ先ツテ之ヲ襲撃驅逐スルニ在リ九月十六日「ルドウ」(ロ)ノ前方ニ於テ同十七日「キーケブシ」(ミ)ノ南方ニ於テ二回ハ其成功アリ九月十八日「ルドウ」(ロ)ノ南方ニ於テハ同一ノ戰術ニ由リ敵ノ退軍中施行セル逆襲ヲ妨遮セリ近衛騎兵九月十六日ニ於テ「ヂーパンセ」(テ)ノ南方ニテ巧ニ此種ノ運動ヲ妨碍ス此時近衛騎兵ハ伴動ヲ爲シテ敵ノ騎兵ヲ誘引シ以テ我前衛ノ潛匿シタル陣地ニ導キ此間迅速ニ他ノ通過點ニ向ヒ敵ノ退軍中ニ乘シ容易ク之ヲ通過スルヲ得タリ是レ騎兵戰術ノ古昔ヨリ著明ナルモノニシテ今日ニ至ルマテ尙ホ好結果ヲ爲スモノナリ然レ此伴襲及ヒ防禦ノ動作ヲ爲スハ他方ニ於ケル敵ノ砲兵或歩兵ノ運動ニ由リ我軍危難ナルヨアリテ騎兵師團ノ勢力ヲ借ルコトヲ要セサキ時ニ於テ「ス」如ク他兵ヲ援助ヲ爲ス可キ時ハ直ニ師團ハ突進

シ他ノ師團ハ之ニ抗シシカ爲ニ其方向ニ進ム故ニ毎日兩三回ノ騎兵大衝撃ヲ見ルコト常ナリシ此密集衝突ノ時ニ於テハ兩師團共ニ敵ノ側面ニ向テ運動スルコトナク正面ニテ相衝撃シ千五百乃至千六百米突ヨリ速勝ヲ採リ八百米突ヨリ駈馳ニシテ百五十米突ヨリ飛勝ヲ用フ而テ其線ヲ展開スルハ常ニ駈馳ヲ取ルノ時ニ於テシ準備ノ諸運動ハ極メテ單簡ニシテ其施行實ニ確正ナリ此運動ヲナスニ号令ヲ聞クコトナク只喇叭ノ号音ノミニシテ其施行極メテ迅速ナリ各中隊ハ特別ニ目標ヲ定メ之ニ向テ成ル可ク速ニ到達衝撃スルコトヲ勉ム其全線上ノ整頓ハ稍不正トナリテ各中隊ノ間ニ間隔ヲ生スルコトアルモ各中隊ハ實ニ驚ク可キ整々堂々恰一固体ノ線ヲ見ルカ如キ容体ナリシ實ニ將官「ホ」(ホ)氏ノ指示ニ由リ獨逸ノ將官ハ騎兵ノ靴々相接スルノ主義ヲ固守シ散撃シヤル

ン、フーラジョール散兵ノ法モ操典中ニ採用スルト雖、用之ヲ實地ニ使用
トナリテ襲撃スルコ
スルコト少ナク十六日近衛騎兵師團敵ノ砲兵ヲ襲撃スル時ニ於テモ密
集隊次ヲ以テセリ

此種ノ大襲撃ハ假令其号令宜シク其施行確實ナルモ自然之ヲ舉力實
施スルヲ能ハス且ツ實地ニ於ケル如キ相續キ來ル諸線ノ勢ヲ見ルコ
能ハサルヲ以テ不充分ノモノト見做サ、ルヲ得ス故ニ各線ハ其直前
ニ在ル敵線ヲ襲撃スルノミテ、テ兩軍二十乃至三十米突ノ地ニ至テ
停止シ決シテ混合タル混濁ヲ云フセハ又追撃等ノコトヲ實施セズ唯
此位地ニ於テ審判官ヲ判定シ待テ兩軍相殺キ更ニ若干ノ距離ヲ採ル
夜間ニ在テハ騎兵師團常ニ步兵師團ノ露營或舎營地ヲ後方ニ退却ス
師團騎兵之ニ反シテ常ニ前衛ニ在リテ夜間モ同シク前衛ニ於テ宿
ニ戰爭前ニ於テハ所屬師團ヲ安全ニ保護スルヲ任シ、テ

戰爭中此騎兵ハ概テ中間連絡ト警戒ノコトヲ專任ス然レモ時機ヲ見レ
ハ獨立騎兵ノ攻襲ヲ扶援ス是レ「フレデリキシヤル」公ノ教示ノ一ヲ實
施スルモノナリ即其教示ノ文ニ「師團騎兵ノ聯隊ハ別ニ命令ナシト雖
モ好時機ヲ見レハ衆多騎兵ノ襲撃ヲ共ニ行フ可キモノナリ」ト眞ニ此
教示ノ主旨ニ從ヒタリ

然レモ其本務ノ要點タル戰場ノ地形探偵ノコトハ其注意甚薄キモノナ
ルカ如シ

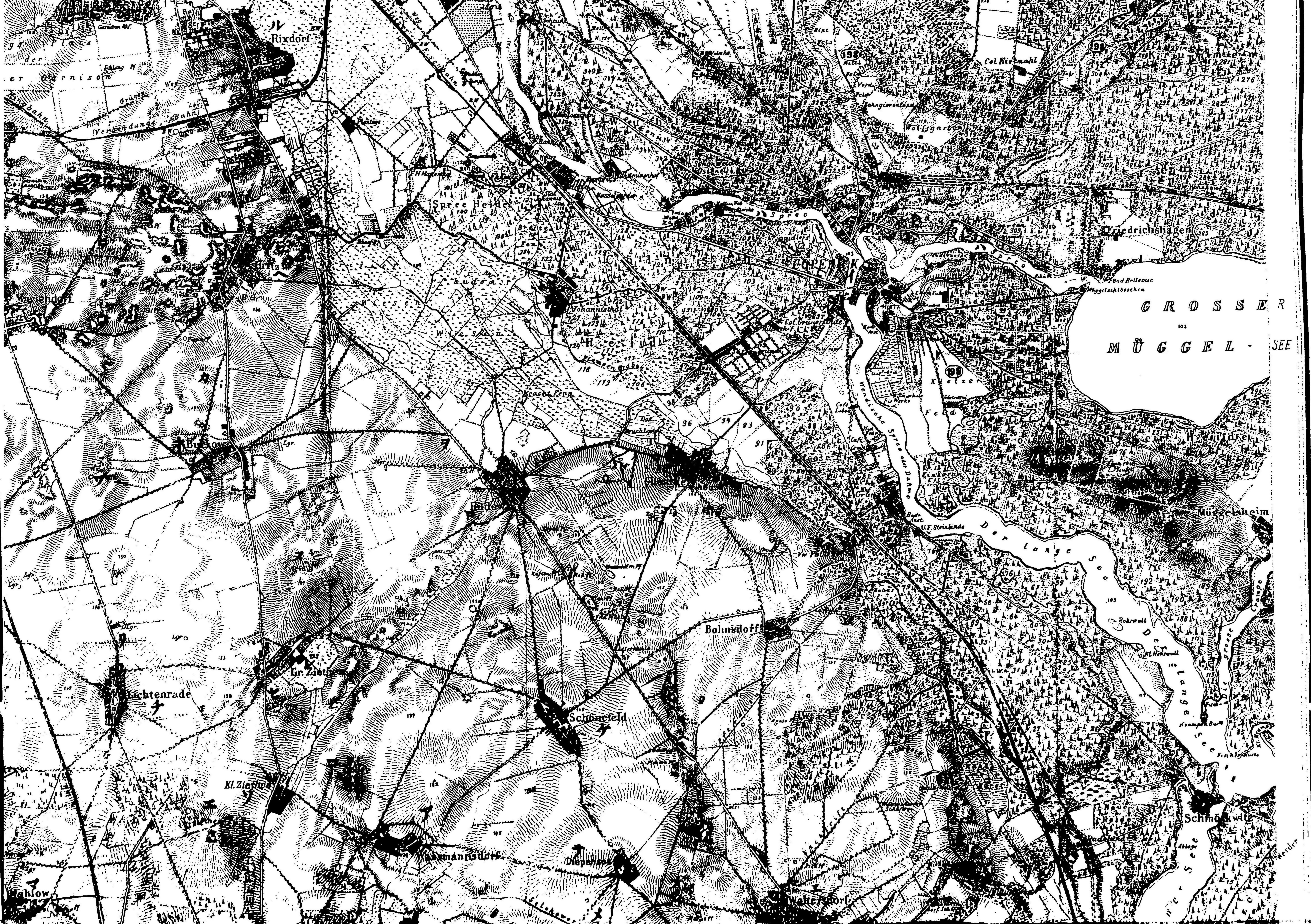
約言スルニ前文ニ記載スル如ク軍團長ノ所見ヲ以テ施行スル運動甚
少ナク大抵預定ノ方略ニ由テ戰爭ノ結局ハ知ルヘキカ故ニ獨逸人ノ
主義タル「戰爭ハ演習ヲ爲スニ異ナラス」ト云フノ主旨ニ適セサルコト多
シ然レモ此演習中尤賞スヘキ性質就中軍紀ノ嚴格ナルト兵隊ノ教育
整頓スルト諸將校ノ動作至當ニシテ誤過少ナク斷然其職掌ノ許スヘ

キ權限ニアリテ所見ヲ實施スルハ賞賛ス可キ所ナリ
該性質ハ古來獨逸軍中ニ固有ノモノニシテ眞ニ其強盛ヲ致ス原因ト
云フ可シ

大尾

es Garde-und III^{ten} Armee-Corps im Jahre 1880.





Rixdorf

Spree-Heide

BERLIN

GROSSE
MÜGGELE-SEE

Lichtenrade

Hr. Zietz

Schönefeld

Bolmsdorf

Hl. Zietz

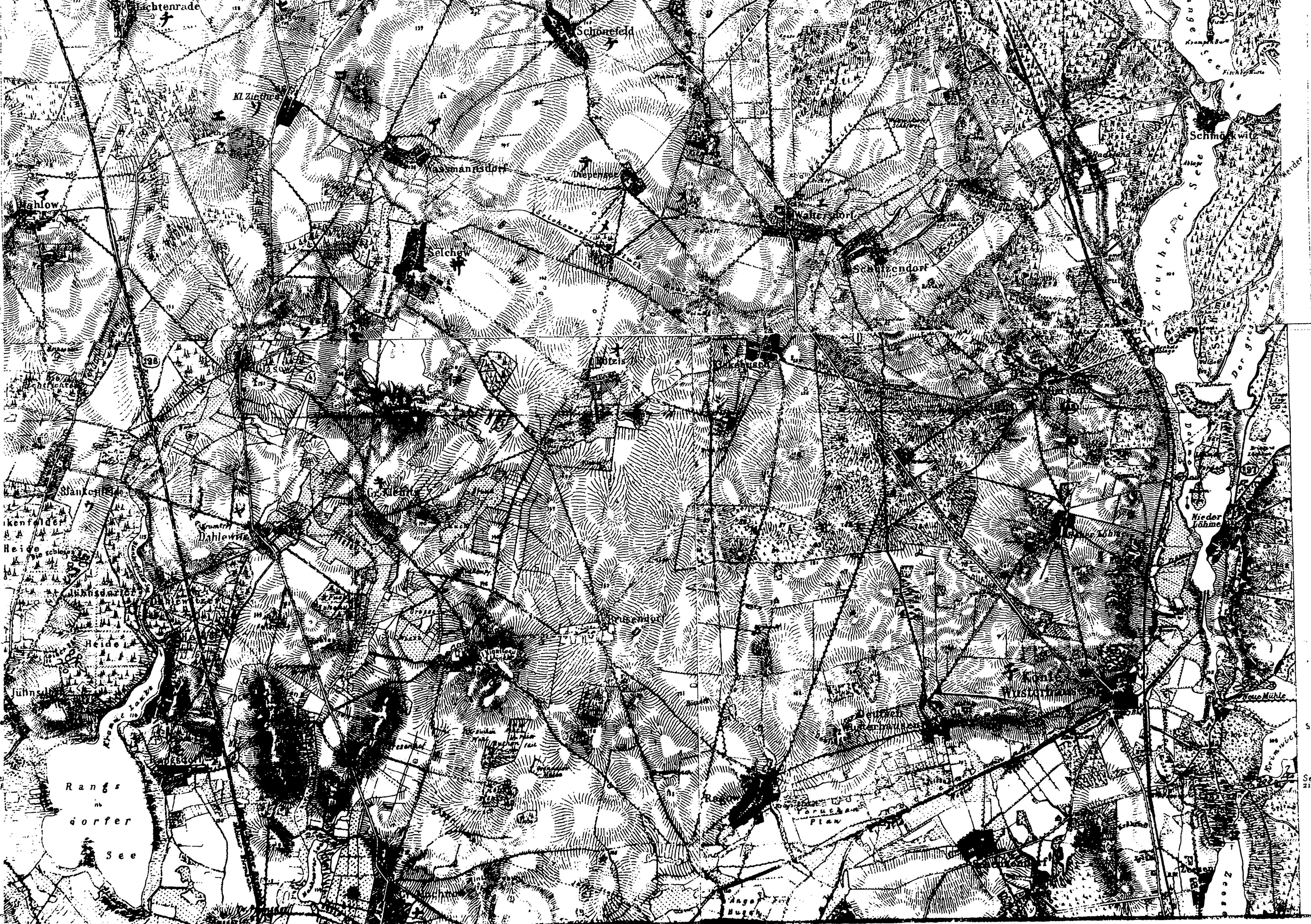
Mannsdorf

Döberitz

Schmöckwitz

Weiter





Sichtenrade

Schönfeld

Kl. Ziebu

Wassmannsdorf

Diepen

Schmöckwitz

Behlow

Selchow

Spitzendorf

198

Stützel

Wankwitz

Dahlewin

Nieder Löhme

Wikenfelder

Heide

Heide

Heide

Lühne

Rangsdorfer

See

See

Wassmannsdorf

Wassmannsdorf

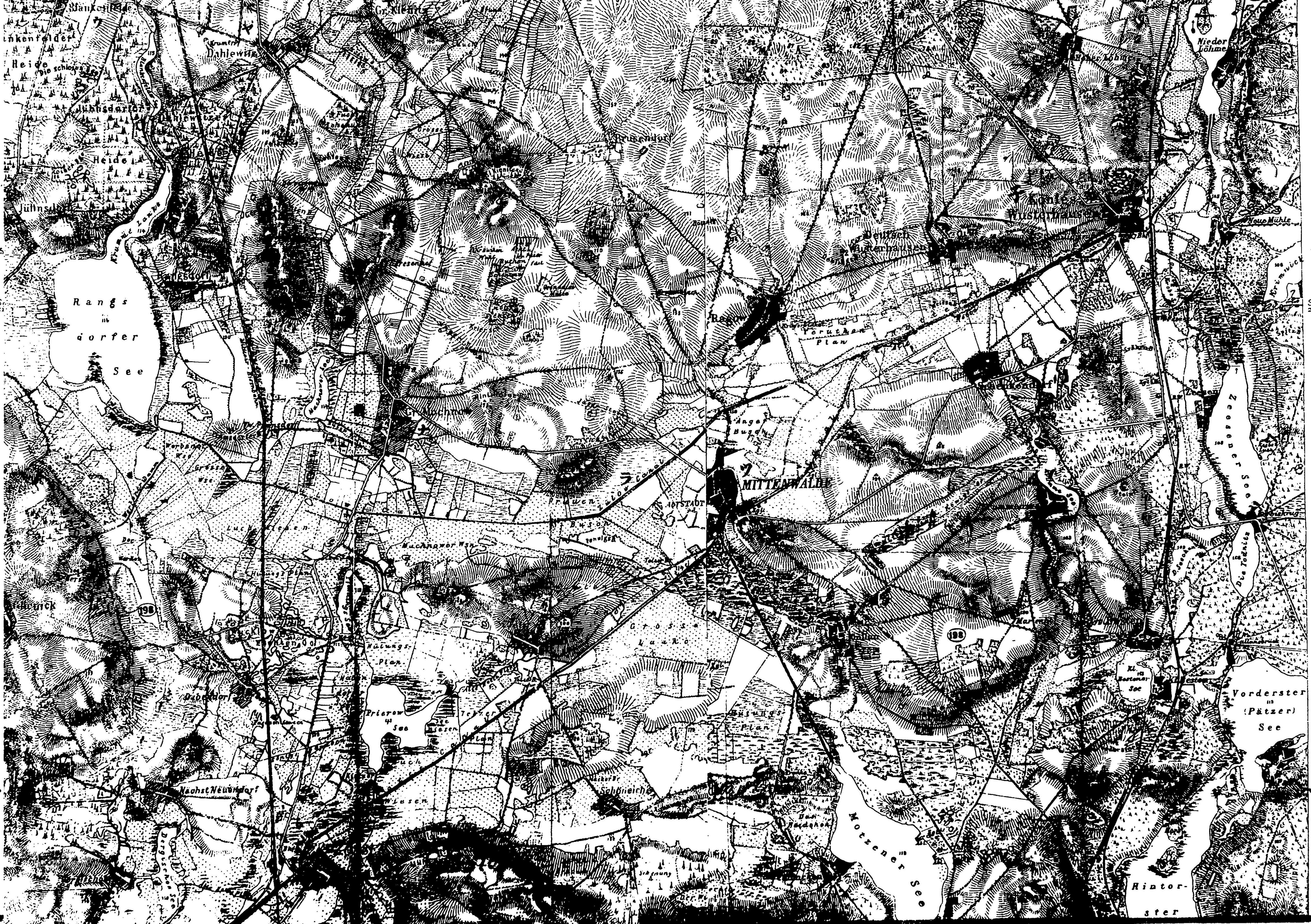
Plan

Neue Mühle

S

21





Dahlewitz

Nieder
löhma

Rangs
dorfer
See

MITTENWALD

Zedener See

Vorderster
(Pätzer)
See

Nächst Neuwindorf

Motzener
See

Hinters
ster



Rangsdorfer See

Dankwitz

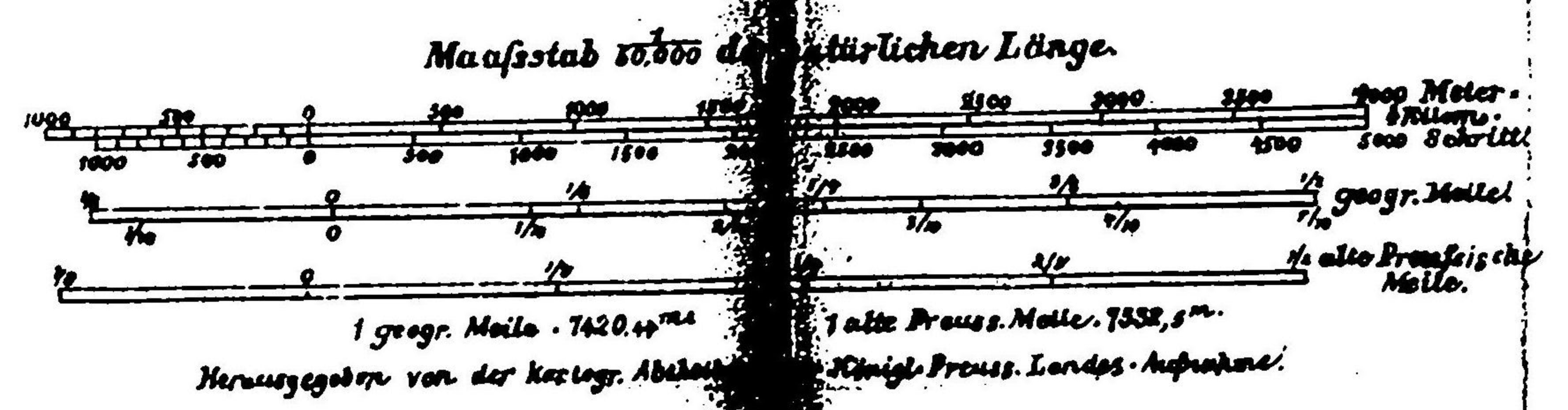
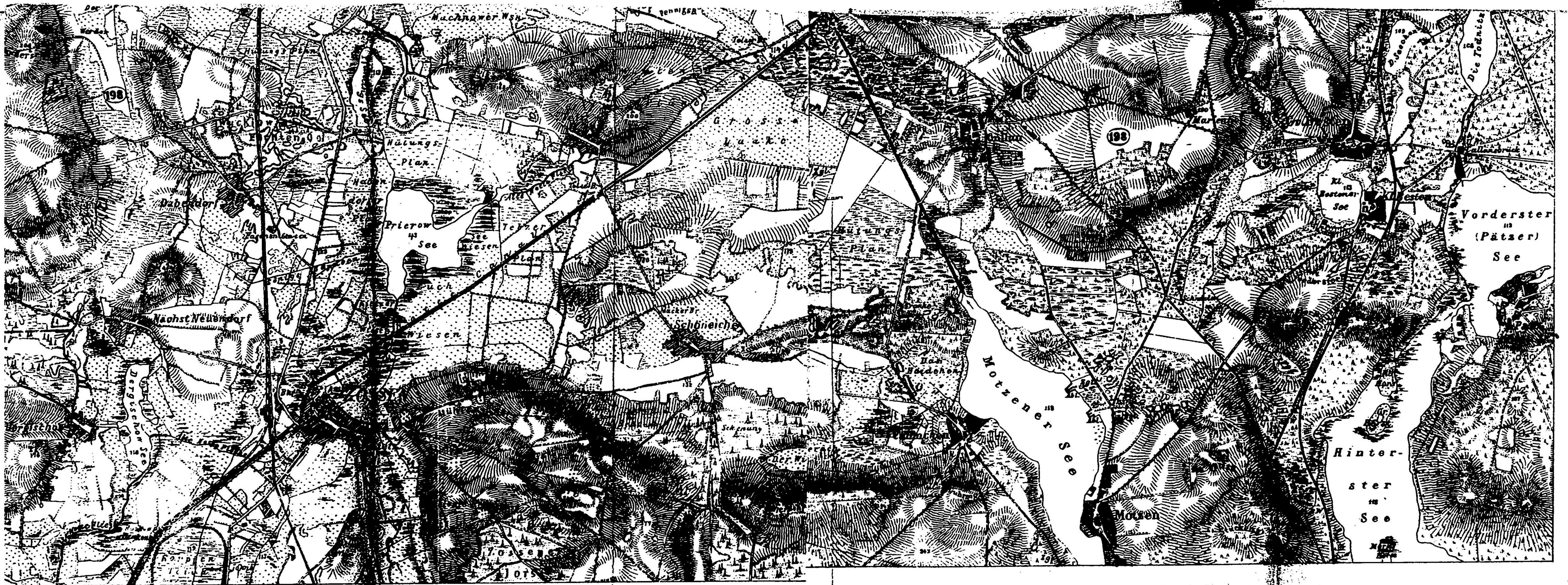
Bienenbrunn

Wendische Wilmsdorf

Triebow

Nächst Neuhof

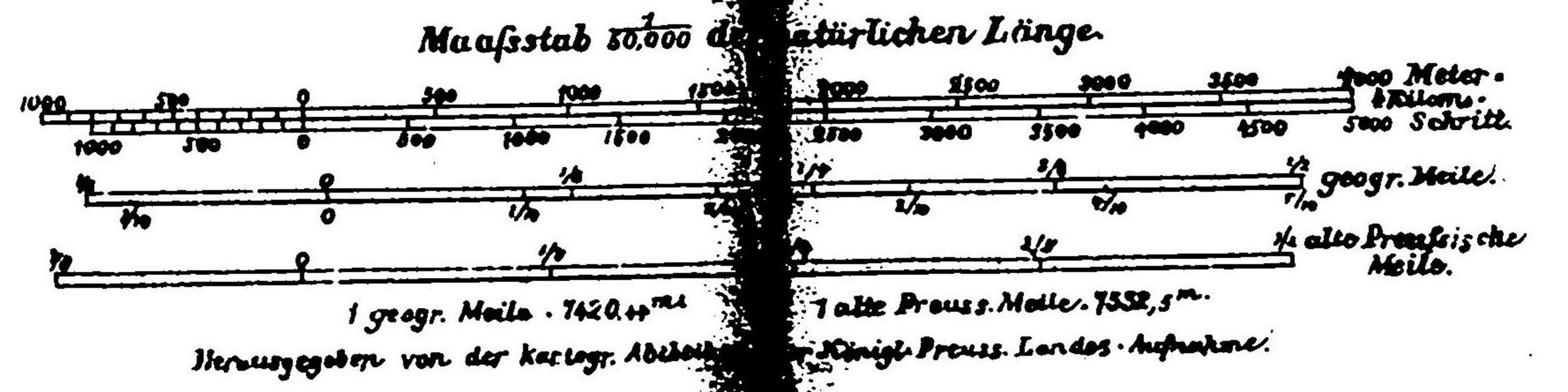
Christen

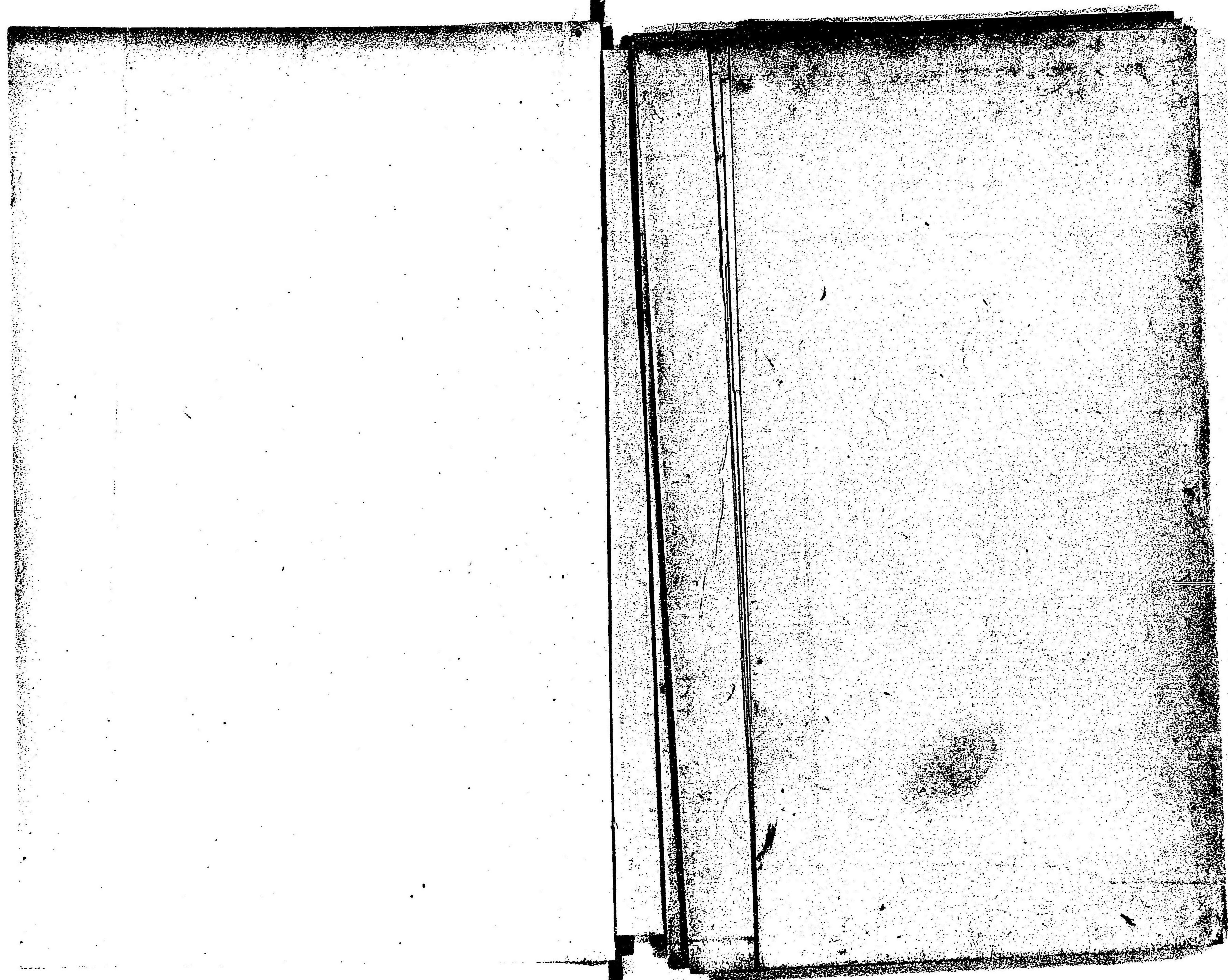


Die stehenden Zahlen geben die absoluten Höhen über dem Meerespiegel an, und sind in Preuss. Duodezimat-Fuss (ca 739,2 Pariser Linien) ausgedrückt.
 Nach dem am 1. Jan. 1872 eingeführten neuen Maas sind 1000 Preuss. Duod.-Fuss = 313,2 Meter.

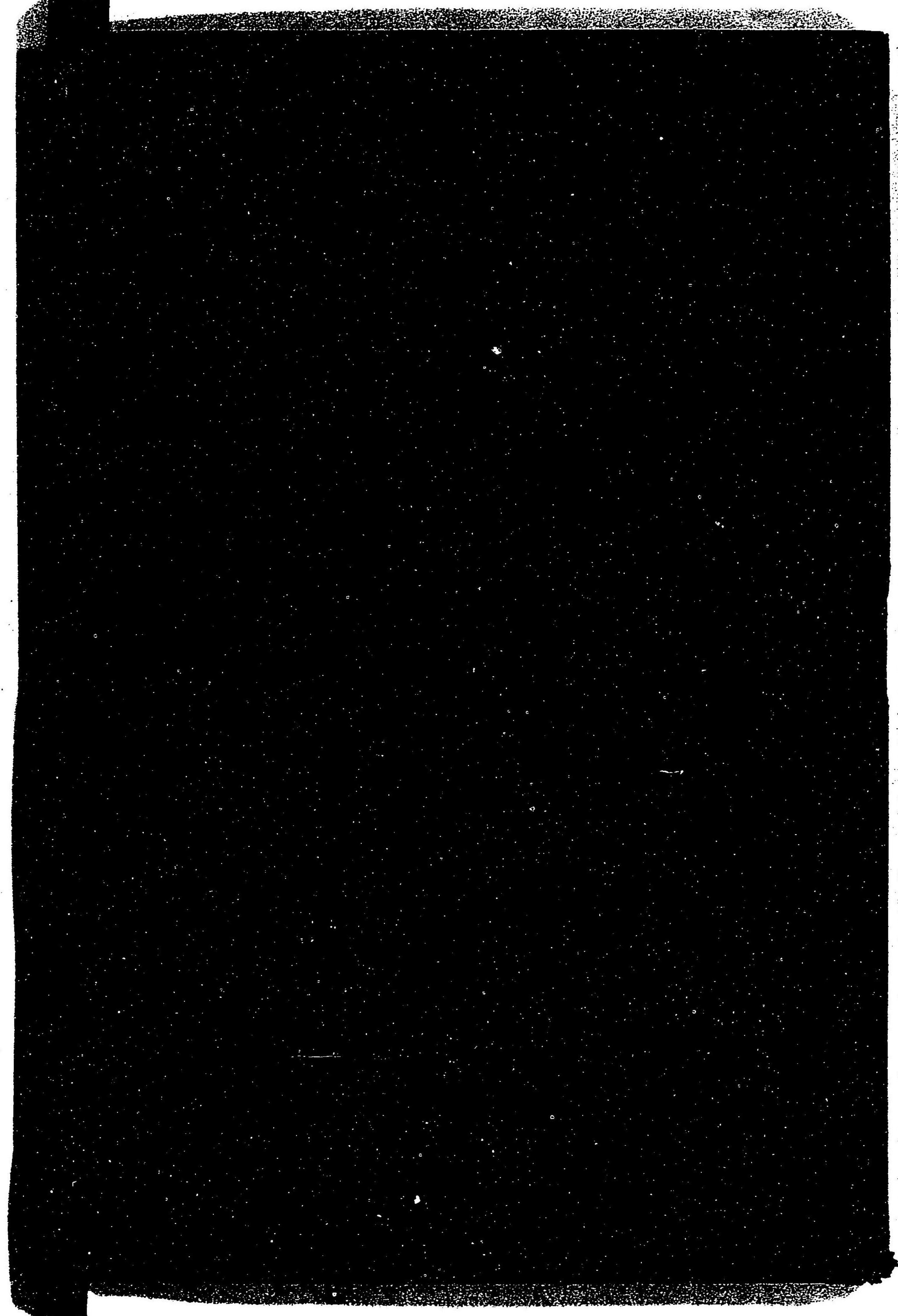


- 104 Haupt- u. Residenz Stadt Berlin.
- 105 Kreis Nieder-Barnim.
- 107 - Beeskow-Storkow. } Reg-Bez.
- 108 - Teltow, } Potsdam.
- 109 Stadtkreis Charlottenburg.





25
2
132



051581-000-0

25-132

独逸大演習記(一八八〇年)

陸軍省参謀本部

〔刊年不明〕

BFB-0347



